# 研修プログラム紹介の配布資料掲載

# 第14回　医学生・若手医師のための緩和ケアセミナー
# 研修プログラム紹介の配布資料一覧表

| ID | 都道府県 | 名称 |
|---|---|---|
| 1 | 北海道 | 国立病院機構　北海道がんセンター |
| 2 | 北海道 | 市立釧路総合病院 |
| 3 | 青森県 | 弘前大学医学部附属病院 |
| 4 | 宮城県 | 東北大学病院 |
| 5 | 宮城県 | 東北医科薬科大学病院 |
| 6 | 山形県 | 鶴岡市立荘内病院 |
| 7 | 福島県 | 竹田綜合病院 |
| 8 | 茨城県 | 筑波大学附属病院(つくば緩和ケアグループ) |
| 9 | 埼玉県 | 深谷赤十字病院 |
| 10 | 千葉県 | 国立がん研究センター東病院 |
| 11 | 東京都 | 都立小児総合医療センター |
| 12 | 東京都 | 国立がん研究センター中央病院 |
| 13 | 東京都 | 東京科学大学病院　緩和ケア科 |
| 14 | 東京都 | 悠翔会くらしケアクリニック練馬 |
| 15 | 神奈川県 | 横浜南共済病院 |
| 16 | 富山県 | 富山県立中央病院　緩和ケア科 |
| 17 | 静岡県 | 聖隷三方原病院 |
| 18 | 静岡県 | 静岡県立静岡がんセンター |
| 19 | 愛知県 | 愛知医科大学病院 |
| 20 | 愛知県 | 岡崎市民病院　緩和ケア内科 |
| 21 | 滋賀県・京都府 | ピースホームケアクリニック |
| 22 | 京都府 | 志高会三菱京都病院 |
| 23 | 大阪府 | 近畿大学 |
| 24 | 大阪府 | 千里中央病院 |
| 25 | 兵庫県 | 神戸大学医学部附属病院 |
| 26 | 奈良県 | 健生会吉田病院 |
| 27 | 福岡県 | 飯塚病院　連携医療・緩和ケア科 |




# 北海道広域研修プログラム

## (主基幹施設：北海道がんセンター)




## 北海道で学ぶメリット

北海道広域研修プログラムでは、緩和医療の専門家を目指す医師が、北海道において各人の目指す専門医像に合った臨床研修カリキュラムを通じて優れた緩和ケアの能力を獲得する機会を提供します（複数の施設での研修が可能）。全15施設の指導医、専門医が総力を挙げて緩和医療専門医取得をサポートします。

プログラム専用サイトへ GO






研修カリキュラム（PDF）をダウンロード

**2026年度は5施設で5名の先生が研修を開始しました ‼**

### 目指す専門医像に合った研修内容の設計

緩和ケア病棟、緩和ケアチーム（緩和ケア外来を含む）、在宅緩和ケアを組み合わせて独自の研修カリキュラムを作ることが出来ます。複数の参加施設での研修が可能です。研修途中のカリキュラム変更、施設変更も柔軟に対応します。

### 充実した指導体制

指導医、専門医のサポートのもと、緩和ケア病棟主治医、緩和ケアチームメンバー、緩和ケア外来担当医、在宅主治医として、ガイドライン等に則った標準的なアプローチを経験、習得することができます。定期的にプログラム委員会を開催し、全施設の指導医、専門医が専攻医の研修をサポートします。ご希望に合わせて臨床研究、学会発表、論文作成、緩和医療専門医試験受験等の指導を行います。

### 専門的緩和ケアの経験

神経ブロック、IVR、緩和的放射線治療、精神腫瘍学について、実施施設での研修・見学が可能です。研修中の施設以外で行う神経ブロック等の見学を随時紹介します。

### 精神腫瘍医を目指すためのアドバンス研修

本プログラム修了後、更に精神腫瘍医を目指す方のための「精神腫瘍医養成プログラム」への参加が可能です。

【お問い合わせ】
独立行政法人国立病院機構
北海道がんセンター
緩和ケア内科　山本　兼二
QRコードから専用フォームへ➡

## 15施設から自分に合った研修施設を自由に組み合わせよう

施設紹介ページへジャンプ

【基幹施設と研修内容】

| | |
|---|---|
| 北海道がんセンター | ：緩和ケアチーム・外来、緩和ケア病棟、神経ブロック、臨床研究<br>※精神科医在籍、IVRと放射線治療の見学は要相談 |
| KKR札幌医療センター | ：緩和ケアチーム・外来、緩和ケア病棟、サイコオンコロジー<br>※月単位の短期研修可 |
| 札幌厚生病院 | ：緩和ケアチーム・外来、緩和ケア病棟、サイコオンコロジー<br>IVR、放射線治療、臨床研究 |
| 市立札幌病院 | ：緩和ケアチーム・外来、神経ブロック<br>※IVRと放射線治療は見学のみ |
| 巡る診療所 | ：在宅緩和ケア、診療所 |
| 市立函館病院 | ：緩和ケアチーム・外来、臨床研究 |

【連携施設と研修内容】

| | |
|---|---|
| ホームケアクリニック札幌 | ：緩和ケア外来、在宅緩和ケア |
| 北海道大学病院 | ：緩和ケアチーム・外来、神経ブロック |
| 緩和ケアクリニック・恵庭 | ：在宅緩和ケア |
| 勤医協中央病院 | ：緩和ケアチーム・外来、神経ブロック、放射線治療 |
| 札幌南徳洲会病院 | ：緩和ケア外来、緩和ケア病棟、在宅緩和ケア |
| 本間内科医院 | ：在宅緩和ケア、診療所 |
| 国民健康保険由仁町立診療所 | ：在宅緩和ケア、診療所 |
| HOME CARE CLINIC N-CONCEPT | ：在宅緩和ケア、臨床研究 |
| 新札幌ひばりが丘病院 | ：緩和ケア外来、緩和ケア病棟、在宅緩和ケア |

## お問い合わせお待ちしております

- 在宅から病棟まで緩和ケアの全ての臨床領域をカバーした専門医研修をデザインすることができます。
- 趣味、子育て、研究などとの両立ができるよう、皆さんのライフスタイルに合った研修施設選びをサポートします。
- ご希望の研修期間、待遇についてもご遠慮なくお伝えください。
- 研修施設見学・オンライン相談を随時募集中です。是非ともお問い合わせください。

【お問い合わせ】
独立行政法人国立病院機構　北海道がんセンター
緩和ケア内科　山本　兼二
https://cab55640kenji.wixsite.com/hokkaidokanwa
QRコードから専用フォームへ➡

ID:2

緩和医療専門医北海道広域専門研修プログラム

# 市立釧路総合病院

## ※ 地域の中核病院における他職種協働のリアルを体験

地域がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
救命救急センター
地域周産期母子医療センター

- ✓ 豊富な症例と幅広い疾患に対応
- ✓ 新病院2027年７月オープン
- ✓ 自然豊かな湖畔の高台に立地
- ✓ 圧倒的に涼しい夏．霧．夕日．鹿．．．



## 主な研修内容

### 緩和ケア病棟
症状評価と緩和
患者・家族への
全人的ケア
看取りとグリーフケア

### 緩和チケアーム
多職種連携
症状緩和の支援と実践
コンサルテーション

### 緩和ケア外来
外来治療中の症状
コントロールや
退院後の継続フォロー

### 神経ブロック
麻酔科のスキル
を活かした
症状緩和

### 資格
日本緩和医療学会
研修基幹認定施
日本ペインクリニック学会
指定研修施設

### 勤務条件
市職員の規定に準じる
当直月２回程度
時短当直なし応相談

### 福利厚生
隣接医師住宅あり
保育園完備
各種補助制度


**市立釧路総合病院**
〒085-0822
釧路市春湖台1-12
https://www.kushirocghp.jp/saiyo/
連絡先：緩和ケア内科部長
宮本奈穂子
kh11962@kushiro-cghp.jp





ご連絡おまちしております

第 14 回 医学生･若手医師のための緩和ケアセミナー

**緩和医療の専門的な研修のプログラム紹介**




弘前大学医学部附属病院緩和ケアチームの紹介

私が弘前大学医学部医学科 6 年で消化器外科を臨床実習で回っていた時、担当患者のうちの 1 人が中学高校時代の親友の父でした。下部消化管の手術を受けたものの再発し、痛みで苦しんでいる状態でした。「麻酔科の女の人がよく来て話を聞いてくれる」と言っていました。1988 年のことなので、まだ一般には緩和ケアという概念が浸透していなかった時代です。

数年後に弘前大学麻酔科の一員として、ペイン緩和部門をローテートしました。当時は神経ブロックや薬物療法を身につけたいと思っていたのですが、患者･家族の全人的苦痛に寄り添い、長時間の傾聴、コミュニケーションを重視するという馬場祥子先生の方向性に戸惑ったのを覚えています。

1976 年に第 1 回が開催された東北ペインクリニック集談会の中心人物のうちの 1 人が、現在の東北大学大学院医学系研究科緩和医療学分野の初代教授であった山室誠先生であったため、この会では緩和に関する内容が次第に増え、馬場先生も大きく影響を受けていました。1997 年には東北緩和医療研究会が立ち上げられ、集談会は東北ペインクリニック学会と名称を変えました。

弘前大学緩和ケアチームは、麻酔科ペインクリニック部門と融合する形で、院内の苦痛を抱える患者様に寄り添い続けています。馬場先生の後は、佐藤哲観先生が引き継ぎ、院内のみならず、全国各地で緩和の啓蒙を行ってくれていました。2016 年からは静岡県立静岡がんセンターに異動され、現在も緩和医療科部長として活躍中です。

2016 年から緩和ケアチームのリーダーとなりましたが、院内には自分以外に日本緩和医療学会認定医がおらず、青森県全体でも私を含めて認定医 3 名のみで専門医、指導医は不在の状況となり、全国最低でした。何とか現状を打破し、伝統ある弘前大学の緩和を継承しようと努力し、その後、弘前大学緩和ケアチームから 5 名の日本緩和医療学会認定医を輩出することができました。将来的には、県内、東北地方、全国で緩和を志す方が増える一助となれるよう、精進を続けていきたいと思っております。

弘前大学大学院医学研究科　地域侵襲制御医学講座（緩和ケアチーム）
木村　太

第 14 回 医学生･若手医師のための緩和ケアセミナー
**緩和医療の専門的な研修のプログラム紹介**



ようこそ弘前大学医学部附属病院緩和ケアチームへ

医学生の見学は大歓迎です。

若手医師の研修も可能です。機構専門医の取得・維持に必要な専攻を妨げない範囲で充実した研修ができ、日本緩和医療学会認定登録医・専門医・指導医を取得できるように配慮いたします。長期の研修を希望される先生には、日本緩和医療学会での演題発表、論文執筆の指導をいたします。

具体的な研修内容

平日 8 時～8 時 25 分　病棟患者のカルテチェック

8 時 25 分～9 時　病棟回診

9 時～11 時　緩和ケア外来診察（慢性疼痛患者を含む）

11 時～12 時　病棟・外来患者の振り返り

12 時～13 時　昼休み

13 時～17 時　病棟患者のケア、緩和ケア認定看護師・心理師を交えてのディスカッション

神経ブロック（無水エタノール･フェノール使用、高周波熱凝固･パルス高周波法など）

検査・放射線治療時などの鎮痛・鎮静

水曜は緩和ケア外来休診

9 時 30 分～10 時 30 分　緩和ケアチームカンファランス

精神科医、看護師、薬剤師、心理師、理学療法士、必要時は主治医

10 時 30 分～11 時 30 分　漢方外来（東洋医学的アプローチを学べます）

休日は希望時に当番医とともに朝回診、夜間のオンコールも可能な範囲で担当していただきます。

腫瘍内科を始め、各科の先生方とも気軽にコミュニケーションを取れる環境でお待ちしています。

ID：4

# 東北大学病院　緩和医療科
# 東北大学大学院　緩和医療学分野

## 緩和医療を学びたい　すべての方を応援します！！！



2024年度医局員



教授　井上彰

辛さを和らげＱＯＬを高める
緩和ケアは、医療の基本です

専門医を目指す方も
博士号を取得したい方も
専門領域は変えずに
短期研修でスキルを向上したい方も
大歓迎です！

**日本緩和医療学会専門医**
- 5年以上の緩和医療の臨床経験
- 2年以上の緩和医療の臨床研修
  or がんプロ養成プランの修了

**日本緩和医療学会認定医**
- 7年以上の臨床経験
- 半年以上の緩和医療の臨床研修

## 当分野の3つの魅力

### 臨床

◎ 緩和ケア病棟×大学病院

◎ 緩和ケアチーム・外来
×がん・非がん問わず介入
（術後痛、心不全、ACP etc）

年間PCU入院数：約200例
年間PCT介入数：約500例

### 教育

◎ 日本緩和医療学会
専門医・認定医取得

◎ 博士号取得
- がんプロフェッショナル養成プラン緩和医療専門医コース
- 社会人大学院

◎ 学生教育への参画

### 研究

◎ 臨床研究
- 単施設＆多施設共同研究
- 疫学調査など
（他分野との協働も可能!）

共同研究に参加したり、
リサーチクエスションを考え、
研究を立ち上げましょう！

## 医師の入局時卒後年数・経験は様々！

（2016～2024年所属の40名）




2025年1月：11名在籍中

緩和医療科研修前の所属科

- 呼吸器内科
- 総合診療
- 腫瘍内科
- 消化器内科
- 血液内科
- 感染症内科
- 消化器外科
- 移植外科
- 呼吸器外科
- 乳腺外科

緩和未経験でも心配いりません！！

妊娠・育児・介護中の短時間勤務も相談可

初期研修終了直後の医師も大歓迎！！

# 研修期間・内容はニーズや経験に合わせて調整します！

例①：医師4年目　1年間で緩和ケア病棟・緩和ケアチームを経験.
（前職は東京の訪問診療医.　ご家族の事もあり週末は東京）




※：外部勤務は前職の訪問診療所.

例②：医師6年目　ママさん　時短勤務　内科専門医受験もあり
11カ月で緩和ケア病棟・緩和ケアチームを経験.
（緩和医療の経験もあるため、それを考慮し研修内容も変更）




例③：医師4年目から約2年在籍
※内科専攻医としても在籍（基幹病院は別病院）




当科に在籍しながら内科専門医も取得できます！！
※2021年度～
東北大学病院内科専門研修プログラムに当分野の研修が追加されました！
（研修制度について要相談）

※希望すれば、臨床研究に参加可能で、論文作成の指導を受けられます.
研修開始後に大学院に進学する方もいます.

※在籍期間は、個人の目標に合わせて半年～相談可（研修しながら検討も◎）
多様な働き方が可能　育児時短・介護休暇など

## 在宅医療に興味のある方にも最適です！

**週1回の外部勤務**　在宅訪問診療所に勤務し、在宅緩和ケアを経験できます
**宮城在宅・緩和ケア包括教育プログラム**
当科・岡部医院仙台・やまと在宅診療所で連携する研修プログラム
緩和医療学会認定医（専門医）と在宅医療連合学会専門医の両方を取得可能です

お問い合わせ　E-mail：akira.inoue.b2@tohoku.ac.jp　井上彰
Facebook：「東北大学　緩和」で検索！
HP：http://www.kanwa.med.tohoku.ac.jp/index.html　⇒

■東北医科薬科大学病院

# がん治療支援科　臨床研修プログラム

研修目的

終末期患者の疼痛を含めた症状緩和を身につける

習得できるアウトカム（能力）

1）必ず習得できるアウトカム（能力）

※習得することで診療科の研修を修了できます。習得できていないと評価を受けた場合は、研修期間が延長となります。

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）
- 患者、家族に共感的な態度で接することができる

B. 資質・能力
- 医療用麻薬を適切に使用することができる
- 症状の評価ができる
- カンファレンスやミーティングで症例提示を行える
- チーム医療の実践が行える

C. 基本的診療業務
- ACP を実際におこなう

2）研修医の意向により習得できるアウトカム（能力）

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）
- 1）と同じ

B. 資質・能力
- 終末期患者の疼痛、呼吸困難、消化器症状、倦怠感、気持ちのつらさなどの症状緩和を行うことができる

C. 基本的診療業務
- 1）と同じ

具体的な指導方法・フィードバック方法（研修方略）

研修中に振り返りをおこない希望をきく

週間予定表

| | 午前 | 午後 | 夕方 |
|---|---|---|---|
| 月 | 8:30～12:00 病棟業務 | | 15:30～17:00 回診 |
| 火 | 8:30～12:00 病棟業務 | 14:30～病棟カンファレンス | 15:30～17:00 回診 |
| 水 | 8:30～10:00 病棟業務<br>10:00～12:00 外来業務 | | 15:30～17:00 回診 |
| 木 | 8:30～12:00 病棟業務 | | 15:30～17:00 回診 |
| 金 | 8:30～12:00 病棟業務 | | 15:30～17:00 回診 |

指導責任者および指導医

指導責任者：　児山　香

指導医：　長尾宗紀、鈴木清寿、山方俊弘

学会発表・論文作成に対する指導体制

指導医が発表のための、スライド作成、プレゼンテーションの指導を行う

第 14 回 医学生･若手医師のための緩和ケアセミナー
**緩和医療の専門的な研修のプログラム紹介**

## ■鶴岡市立荘内病院

◎対象者
当院での研修を希望される医師　1 名
専門科は問いません

◎研修目標
初期から看取り期までの緩和ケアを、自施設・地域にある医療資源で行えるようになる
身体症状、精神症状ともに、様々な症状緩和ができるようになる
がん性疼痛に対する神経ブロックを実践する
病院の緩和ケア担当医として、在宅療養を支える

◎研修期間
短期から長期まで、ご希望の期間で受け入れできます
（他の所属の病院を主研修先として、当院を研修協力病院としての受け入れも可能です）

◎研修内容
・緩和ケア内科　外来（週 4 日）
・病棟回診　毎日

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| AM | 外来 | 外来 | | 外来 | 外来 |
| PM | チーム回診 | | 症例検討会 | カンファレンス | |

・緩和ケア外来は予約制ですが、定期通院されている方の緊急対応はあります

・緩和ケアチームラウンド　月曜日 13 時から
・緩和ケアチームカンファレンス　木曜日 16 時 30 分から
・チーム担当患者の回診など入院患者の対応、訪問診療、神経ブロック等の処置は適宜
・症例検討会　毎月第 2 水曜日　19 時から（8 月を除く）
多施設、多職種が参加し、当院内の症例だけではなく、施設や在宅で療養をしている症例について事例検討しています

◎診療実績
・緩和ケア内科　外来受診　40 例/月

・緩和ケアチーム　新規依頼　280 件/年

・がん性疼痛に対する神経ブロック　13 例/年（R7 年度）（神経破壊を伴うもの　9 例）

# 竹田綜合病院緩和医療科

ID:7



あたたかい心とたしかな医療



平塚裕介
科長・研修指導責任者
医学博士
緩和医療指導医
栃木県出身





島津葉月
医長
緩和医療専門医
総合内科専門医
呼吸器専門医
和歌山県出身

Think Globally & Act Locally

地域医療を通して「世界レベル」の緩和ケアを学ぼう！

病棟
×
チーム
×
外来

病棟主治医として
全人的な関わりを学ぶ

2人目の主治医として
多彩な疾患の緩和ケアを学ぶ

外来主治医として意思決定支援や
多職種連携を学ぶ

# 会津から広がる緩和ケア医への道!




当院は初期研修中に緩和医療科をローテート可能です。当院で初期研修を行いながら、「どのような緩和ケア医になりたいか?」を一緒に考えてみませんか?




総合診療専門医の資格取得を経て、当院の専門研修プログラムへの参加を推奨します。福島県立医科大学病院および福島県立医科大学会津医療センターの総合診療専門研修プログラムと連携し、緩和ケア医への道に進んでいくことができます。




年数を問わず、どなたでも大歓迎です。これまで培ってこられた基本領域でのスキルや経験を最大限に活かしながら、専門的な緩和ケアを学べるよう柔軟に対応します。



福島県立医科大学
総合診療専門研修プログラム（4年間）
家庭医療専門医取得を目指します

## 連携プログラム



福島県立医科大学会津医療センター
総合診療専門研修プログラム（3年間）
総合診療専門医取得を目指します

### 当科の特徴

- 病棟とチームは全員で診療
- 残業は滅多にありません
- 休日と夜間はオンコール体制
- 研究活動も積極的

### CONTACT

平塚裕介(研修指導責任者)
x hiratsuka.med.t@gmail.com

ID：8

# つくば緩和ケアグループ
# 専門的緩和ケア研修プログラム

## つくばの緩和は強力な〝二本立て〟



*茨城の「先進医療」「研究・教育」の拠点として*
*医療の発展に貢献する*

筑波大学附属病院
University of Tsukuba Hospital

地域がん診療連携拠点病院（高度型）
がんゲノム医療拠点病院、陽子線治療施設 等
病床数：809床



### 2022年 緩和支持治療科 新設 !!

**緩和ケアチーム**：指導医4名
○ 緩和ケアチーム・外来
　コンサルテーション：1015件/年　非がん：89件/年
　緩和ケア外来新規：300件/年
○ 研究：科研費を医師7名中6名獲得しています。
⇒ 病院HPは[こちら]　緩和支持治療科HPは[こちら]
　臨床研修センターHPは[こちら]

*茨城県南・県西地域の*
*「救急医療」と「がん医療」を担う*

公益財団法人 筑波メディカルセンター
筑波メディカルセンター病院
Tsukuba Medical Center Hospital





地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院 等
病床数：408床　訪問看護ステーション3か所

**緩和医療科**：指導医2名
○ 緩和ケア病棟　病床数：20床 + 一般病床3床
　平均在棟日数：25.5 日　在宅復帰率：27.8 %
　入院患者数：265 名/年
○ 緩和ケアチーム
　コンサルテーション：359件/年　非がん：58件/年
⇒ 病院HPは[こちら]　緩和ケアセンターHPは[こちら]

筑波メディカルセンター病院
緩和医療科[facebookページ]

### さらなる〝進化〟を続けます！

# 充実した環境で専門的な緩和ケアの研修ができます

## 研修プログラム： 筑波大学附属病院　内科専門研修 緩和ケアコース

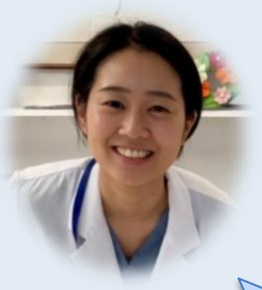
→ 緩和ケアコース紹介HPは こちら

対象：卒後3年目以上　研修期間：5年（希望に合わせて調整）
取得可能資格：研修2年間修了後⇒内科専門医　研修5年間修了⇒緩和医療専門医

- 内科専門研修で内科の診療力を身に着けながら、専門的な緩和ケアの研修を行い、内科をベースとした緩和医療専門医となることを目指します。
- 精神腫瘍科の研修、博士号の取得なども、希望に合わせて相談できます。
- 専門医に必要な研究もしっかりサポート！

※　卒後5年目以上（他施設でベースの診療科の研修終了後）の短期研修を希望の方は要相談

## 実際の研修生からのメッセージ



和田廸子先生
緩和ケア研修 4年目

研修内容は比較的自由度が高く、個人の希望に応じて行うことができています。私は、緩和医療を行う上で、各専門科で化学療法や非がん疾患の診療を幅広く経験したいと思い、初期研修のスーパーローテートのような形で3～6か月ごとに専門内科研修だけでなく救急・集中治療、総合診療科、専門緩和研修を組み合わせた研修をしています。
昔から医学教育に力を入れている茨城の地での研修は、毎日勉強することばかりで忙しくも充実しており、日々成長を実感しています。
ぜひ一緒に研修できると嬉しいです。お待ちしています！

<和田先生の研修プログラム（予定）>

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1年目 | 大学病院：呼吸器内科、救急・ICU | | | | | | 市中病院：総合診療科 | | | | | |
| 2年目 | TMC：緩和ケア病棟 | | | 市中病院：腎臓内科 | | | 市中病院：循環器内科、消化器内科 | | | | | |
| 3年目 | 大学：放射線診断科、血液内科、放射線腫瘍科、乳腺甲状腺外科 | | | | | | | | | | | |
| 4年目 | 大学病院：緩和ケアチーム | | | | | | TMC：緩和ケア病棟 | | | | | |
| 5年目 | PCUや在宅などで専門的緩和ケア研修（予定） | | | | | | | | | | | |

# 研修修了者が全国の緩和ケアの現場で大活躍中！

≪研修実績≫
専門医プログラム修了者：9名
短期研修修了者：9名
他施設・他科：延べ 54名

≪資格取得者≫
専門医　20名
認定登録医　6名



見学・オンライン相談 随時受付中！！


＜ 連絡先 ＞
筑波大学 医学医療系
緩和医療学教室
kanwa@md.tsukuba.ac.jp

# 深谷赤十字病院　支持緩和医療科

ID:9






所在地　埼玉県深谷市
地域がん診療連携拠点病院
臨床研修指定病院

病床数　466床
緩和ケア病棟　15床
診療科 30科

日本緩和医療学会　認定施設（基幹）
学会連係施設　埼玉県立がんセンター、シャローム病院

## 緩和ケア病棟　15床

新入院症例　194例
（2025年度実績）

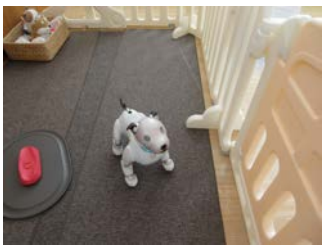
終末期ケアだけでなく、全人的な症状緩和や退院支援についても研修します。



朝のカンファレンス風景



緩和ケア病棟ラウンジ
定期的な催しを行います



アイボもいて患者さんの
癒しになっています。

## 緩和ケアチーム

加算取得症例　1193例
（2025年度実績）

支持緩和医療を行う「2人目の担当医」として多様な病期の患者さんに関わり多職種連携を通したチーム医療について学びます。



週1回木曜日の
カンファレンス風景



病棟スタッフとの
ナースステーションでの
カンファレンス風景

週1回のチーム全体のカンファレンスと平日の緩和ケアチーム病棟回診をしています

**緩和ケア外来**

新紹介症例　254例
（2025年度実績）



認定看護師と薬剤師が外来について医師とともに患者さんをサポートします。

外来主治医として終末期だけでなく、手術、化学療法等の治療と並行しての多様な病期の患者さんに対しての支持緩和医療を学びます。放射線科や麻酔科と連携し、症状緩和のための放射線照射や神経ブロックなども積極的に行っています。

**緩和ケア外来、緩和ケア病棟、緩和ケアチーム、一般病棟での患者担当も含めた途切れのない支持緩和医療、ケアの提供を学びます。**

## 【深谷赤十字病院　支持緩和医療科専門研修プログラムの概要】

日本緩和医療学会緩和医療専門医研修カリキュラム2026年版 Ver1.0に準拠

- 院内の緩和ケア診療
  （緩和ケア病棟・緩和ケアチーム・緩和ケア外来）
- 院内外の緩和ケア関連の活動・教育・指導など
- 院内がんの多職種、多施設連携

- 希望により他施設での緩和ケア研修

## 【研修期間と研修内容】

- 研修期間　2－3年
  研修者が希望する研修内容に合わせて研修期間を決定する。

- 研修内容
  日本緩和医療学会専門医研修カリキュラム2026年度版Ver1.0に準拠
  研修期間や研修者の希望に合わせて個別に研修の内容を作成する

## 【募集対象者】

- 日本専門医機構基本領域専門医取得者、またはそれと同等と考えられる経験・実績のある医師

当院の他の専門研修プログラムを終了後に上記のプログラムに参加する事も可能
上記以外の医師や2年未満の研修については別に対象者にあわせて研修や見学、短期研修が可能。

## 【身分・処遇等】

当院の規定に基づき各研修者毎に身分、処遇等決定する。

## 【問い合わせ先】

深谷赤十字病院　人事課
〒366-0052
埼玉県深谷市上柴町西1-5-8
TEL048-580-6851

## 【質問・相談など】

支持緩和医療科　部長
浦川　雅己
E-mail: turakawa@amber.plala.or.jp
※お気軽に連絡ください。

日本赤十字社 深谷赤十字病院

第 14 回 医学生・若手医師のための緩和ケアセミナー on WEB
**緩和医療の専門的な研修のプログラム紹介**

# 国立がん研究センター東病院
## 緩和医療科



## 国立がん研究センター東病院緩和医療科での研修の特徴

★ ***緩和医療科の幅広い活動***

緩和ケア病棟、緩和ケアチーム、外来において、診療科の垣根を越えた
シームレスな専門性の高い緩和医療を提供しています
日本でもトップレベルの診療実績を誇り、
多くの専門的緩和ケアの臨床経験を積むことが可能です

★ ***在宅医療機関との連携***

非がんも含めた在宅医療の長期研修が可能です

★ ***精神腫瘍科との連携***

緩和医療での必須スキルである精神・心理的支援が
日常の診療でしっかり学べます



★ ***幅広いローテーション先***

標準治療から陽子線治療や薬剤の開発などの
先端治療まで、がん医療を幅広く学べます

★ ***緩和医療専門医資格の取得***

緩和医療専門医 2 名の指導を受けることができます

2025 年度診療実績
緩和ケア病棟入院　535 名
支持療法チーム新患　672 名
緩和ケア外来新患　353 名

緩和医療科の活動や研修について

緩和医療科 Twitter
https://twitter.com/NCCHEpalliative/

緩和医療科ホームページ
https://www.ncc.go.jp/jp/ncce/clinic/palliative_care/index.html

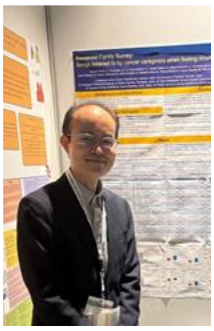
緩和医療科・精神腫瘍科 Facebook ページ
https://www.facebook.com/ncceastpallipsycho/

第 14 回 医学生・若手医師のための緩和ケアセミナー
**緩和医療の専門的な研修のプログラム紹介**

## 研究に関する研修

★ ***研究への取り組み***

関心のある研究や機器/システム開発に取り組んでいただき、
国内外の学会での発表や論文作成が可能です



★ ***多施設緩和ケア抄読会***

Web 会議システムにより、多施設で緩和ケア領域の
論文を網羅しています（毎週開催）

★ ***横断的なカンファレンスや講義***

診療科や研究部門の枠を越えた横断的なカンファレンスや
臨床研究等に関する講義を受講できます



★ ***医学博士号の取得***

連携大学院（順天堂大学等）があり、
研修しながら学位を取得することが可能です

## 研修プログラム

臨床経験５年以上
（レジデント修了者に
相当する者）

臨床経験２年以上

**レジデント**
３年コース、２年コース
短期コース（3~12 か月）

**がん専門修練医**
２年間

**任意研修**
研修期間は任意
**（無給）**

**多様な組み合わせが可能**
★ 緩和ケア病棟
★ 緩和ケアチーム
★ 緩和医療科外来
★ 在宅緩和ケア
★ 他科ローテーション
精神腫瘍科
オンコロジー全般
★ 臨床研究

詳細は募集情報をご確認ください
https://www.ncc.go.jp/jp/cepcd/recruit/20220823091309.html

**研修や見学に関するお問い合わせは**

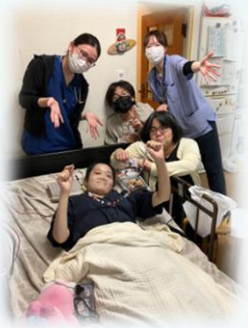
国立がん研究センター東病院緩和医療科　服部　友歌子
メールアドレス： yuhatto2@east.ncc.go.jp

見学は随時歓迎！！
お気軽にお問い合わせください

都立小児総合医療センター × 赤羽在宅クリニック ID:11



# 合同緩和ケア研修プログラム



全人的苦痛に「病院」と「在宅」双方から手の届く、専門的緩和ケア

＼レジデント随時募集中／

## 比類なき環境での学び

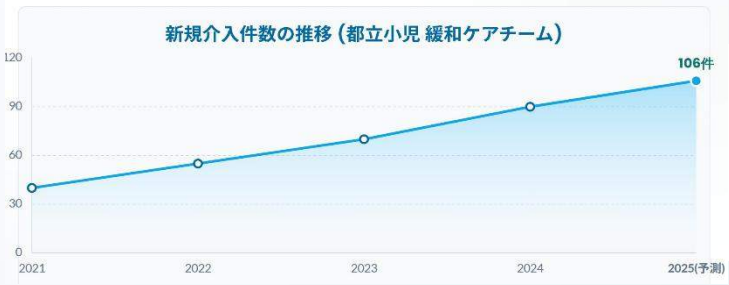
小児の緩和ケアを包括的に学べる環境がここにあります。がん・非がんを問わず、できるだけお家で過ごしたいお子さんや、通院治療を受けながら自宅で症状緩和を行いたいお子さんをサポートします。

都内有数の症例数を誇る「小児病院」と、地域に根ざした「在宅クリニック」がタッグを組み、熱意ある若手医師を募集しています。

## 多様な症例から深く学ぶ

都立小児総合医療センターの緩和ケアチームでは、がん症例（62件）だけでなく、非がん症例も含め年間100件以上の新規ケースに介入しています。

また、緩和ケア外来（のべ48件）や遺族ケア外来を通じ、急性期から慢性期、そして看取り後まで、途切れることのない全人的なケアを数多く経験できる稀有な環境です。




## 当プログラムの3つの魅力

### 絶え間ないケア

小児病院スタッフが在宅クリニックにも勤務。医療用チャットツールを活用した24時間体制により、病院と地域が一体となったシームレスなケアを実践できます。

### 圧倒的な経験値

都内有数の小児病院でのチーム医療から、日本屈指の件数を誇る小児の在宅輸血まで、高度で幅広い専門的スキルを身につけることができます。

### 柔軟なキャリア形成

小児だけでなく、関連病院と連携した成人領域（緩和ケアチーム・病棟）での研修も相談可能。将来を見据えた柔軟なプログラム設計が可能です。

# 研修で学べること（施設別ハイライト）

### 都立小児総合医療センター

- **緩和ケアチーム介入：**がん・非がん問わず多様な新規症例への介入とチーム医療の実践。
- **緩和ケア外来：**慢性疼痛や心不全を抱えるお子様への積極的な症状緩和。
- **遺族ケア：**ご家族のニーズに寄り添う、グリーフケア外来の実践。
- **地域への橋渡し：**退院前・後訪問指導を行い、病院からかかりつけ医として自宅療養を支援。

### 赤羽在宅クリニック

- **小児の在宅医療：**がん・非がん双方の在宅療養を最前線で支える実践的アプローチ。
- **高度な医療処置：**日本屈指の経験件数を誇る「小児への在宅輸血」など、実践的スキルの習得。
- **迅速な移行支援：**小児病院と緊密に連携し、予後の迫ったお子様の希望を叶えるスムーズな在宅移行。

# 募集要項・研修概要

### 応募資格

基礎となる学会の専門医を取得している方。

※小児科志望の方は、小児病院での「小児科専門医」取得についてもご相談可能です。

### 研修スケジュール・期間

先生方のキャリアプランやご希望に合わせて随時ご相談に応じます。短期から長期まで柔軟に対応可能です。

### 研修認定施設

都立小児総合医療センター、赤羽在宅クリニックともに「日本緩和医療学会 認定研修施設」としての基準を満たしています。

# 見学・ご相談 大歓迎

少しでもご興味をお持ちの方は、お気軽にご連絡ください。
施設の壁を越えた新しい緩和ケアの形を、一緒に作っていきましょう。


**お問い合わせ先**

都立小児総合医療センター 緩和医療科
担当: 西川
eri_1_nishikawa@tmhp.jp

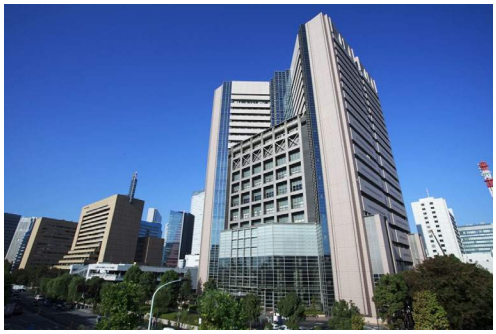
ID：12

# 国立がん研究センター中央病院で

NCCJ National Cancer Center Japan | 国立がん研究センター 中央病院

## あなたが緩和ケア・サイコオンコロジーを学ぶ10の理由

### 1 年間2,000例を超える症例数！！



当院の緩和ケアチーム介入件数は年間2,157件(2025年度)で、全国平均(209件 2025年度緩和ケアチーム登録)の10倍以上です。対象症例は、5大がんに加え、肉腫、悪性黒色腫など希少がん、造血幹細胞移植、治験、小児、AYA世代や外国人と多岐にわたり、症状緩和だけでなく、意思決定支援や療養環境調整など様々な経験を通じてあなたを鍛えます。




### 2 4チーム体制！指導スタッフが多い

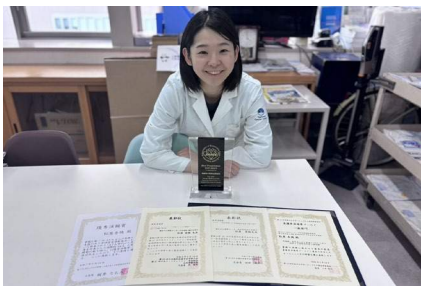
当院の緩和医療科研修はコンサルテーションチーム活動が基本です。緩和ケアチームは国内最多の4チームあり、1チームの施設の4倍以上の緩和ケアチームスタッフが診療しています。毎週行われる緩和ケアチームカンファレンスでは医師だけでなく、看護師、薬剤師、心理士、栄養士、アピアランスケアスタッフなど多岐にわたる職種とディスカッションし、学びを深めることができます。

### 3 個別性の高い研修プログラム

研修は主に緩和医療科・精神腫瘍科に固定して行うがん専門修練医（2年間）と、他診療科ローテートが可能なフェロー（2-3年間）のコースがあります。いずれのコースとも希望者は研修期間中に他科や外来、緩和ケア病棟を有する近隣の施設(国立がん研究センター東病院、がん研有明病院、永寿総合病院など)や非がんを含む緩和診療(国立国際医療研究センター)の研修が可能です。

院外研修実績のある施設

- NCCJ 国立がん研究センター 東病院
- がん研有明病院 CANCER INSTITUTE HOSPITAL
- 永寿総合病院
- 総合病院 聖隷三方原病院 SEIREI MIKATAHARA GENERAL HOSPITAL
- 聖路加国際病院
- わたクリニック Wata Clinic
- みなとホームケアクリニック



### 4 学会発表、論文執筆のチャンスが多い

国内外の学会での発表、査読付き英文誌への論文投稿などの機会にあふれています。経験豊富な指導医のもと、フェローの発表が優秀演題、最優秀演題として表彰されることもしばしばあり、自身のキャリアアップに確実にプラスになります。

### 5 専門医/認定医/学位が取れる

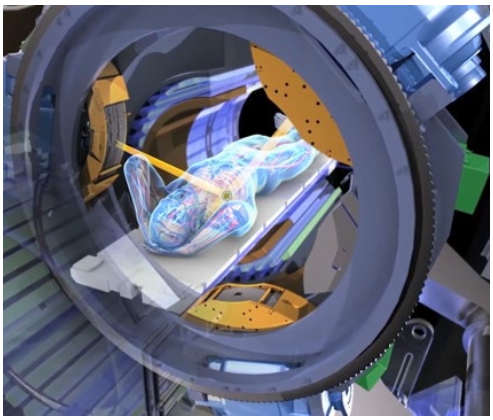
日本緩和医療学会の専門医、認定医取得に必要な症例数や資格要件を得られることはもちろんのこと、学位取得を希望される方には当院の連携大学院制度（慶應義塾大学、慈恵医科大学、順天堂大学、埼玉医科大学など）を利用した学位取得も可能です。

**2025年度実績**（当科研修者含む）

| | |
|---|---|
| 緩和医療学会専門医取得 | 5名 |
| 緩和医療学会認定医取得 | 4名 |
| 学位取得 | 1名 |

## 6 最先端のがん医療が学べる

がん医療はゲノム医療、個別化医療のキーワードのもとで日々急速に進歩しています。当院は国内のがん医療のトップランナーであり、遺伝子パネル検査をはじめとする診断技術、新規薬剤の治験、新規放射線治療技術など、普段の臨床の中で日常的に触れられます。院内にはがん診療全体、治療開発、臨床研究を学ぶプログラムが整っており、緩和ケアに限らず最新のがん医療を俯瞰的に学ぶことができます。また、緩和ケア研修会や緩和支持療法セミナーでは講師としての経験も得られます。





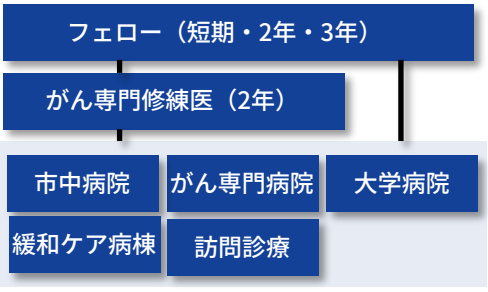
## 7 がん診療経験がなくても大丈夫

がん診療の経験が少なくてがんセンターの患者さんを担当できるだろうか？と不安な方も大丈夫。緩和ケアチームのOn the Job Trainingと院内の勉強会を通じてがん診療に必要な知識と経験が身につきます。循環器内科、腎臓内科出身の医師も研修しています。

## 8 たくさんのフェロー仲間

他診療科も含めると毎年20–40人のフェローが全国から集まります。自分にはない専門性を持つ同期と教え合いながら共に学ぶ経験はそれだけでも貴重ですし、そこで築き上げた人間関係は間違いなくその後一生の財産になります。




## 9 研修修了後の進路が選べる

研修修了後の進路をご紹介することも可能です。がん専門病院（国立がん研究センター東病院、がん研有明病院）、緩和ケア病棟（永寿総合病院、虎の門病院、横浜市民病院）、訪問診療（わたクリニック、悠翔会）、厚生労働省など様々な施設でOB、OGが活躍しています。

## 10 ワークライフバランスの充実

院内に職員向けの保育園があり、育児しながらの勤務も可能です。年休の取得はもちろんのこと、男性医師も産休や育休の制度を利用することができます。

病院は東京駅、羽田空港とアクセスしやすく国内の移動は容易。そして銀座や築地市場に隣接しており、通勤にもプライベートにも便利な抜群の立地です。




もっと詳しく知りたい方はこちら

国がん中央 緩和ケアチーム

募集要項はこちら

気軽にお問い合わせください！

国立がん研究センター中央病院
●緩和医療科　科長　里見 絵理子
esatomi@ncc.go.jp
●精神腫瘍科　科長　松岡弘道
hiromima@ncc.go.jp

Institute of SCIENCE TOKYO

# 東京科学大学病院

ID：13

## 緩和ケア科



### 【当院の特徴】

★2017年4月から緩和ケア病棟（15床）を開設し、緩和ケアチームは年間約500件程度の新規依頼を受けています。

★病院は東京駅近く、御茶ノ水駅から徒歩2分という好立地にあります。

★緩和医療認定研修施設（基幹施設）です。
専門医・認定医取得をサポートします。

★研究にご興味のある方は大学院での医学博士号取得も可能です。
（1名が博士号取得済、1名が在学中）

### 【緩和ケア科　研修プログラム例】

**■認定医を目指す場合**
緩和ケア病棟、緩和ケアチームにて6か月以上

**■専門医を目指す場合**

| | |
|---|---|
| 卒後5年目まで | 当大学または関連病院における、研修プログラムを希望に応じて事前に相談 |
| 卒後5年目以降または状況に応じて | 2年以上の緩和医療の研修プログラムをニーズに応じて適宜相談 |

| | |
|---|---|
| **緩和ケア1年目** | 緩和ケア病棟での研修を主とする |
| **緩和ケア2年目** | 緩和ケア病棟・緩和ケアチーム・協力施設での研修を主とする |

### 【当院　がん先端治療部・臨床腫瘍学分野における緩和ケア科】

緩和ケア科 ⇔ 臨床腫瘍科
緩和ケア科 → ゲノム診療科 ← 臨床腫瘍科

がん診療を通じ有機的に連携しており、内科系研修プログラムの相談が可能です。

**【募集内容】**　緩和ケアの診療に携わりたい若手医師を募集しています。

★業務は、
・緩和ケア病棟での診療（研修の初めはこちらがメインとなります）
・緩和ケアチームでのコンサルテーション業務
・医学部学生に対する教育
となります。

★平日週4日（8時30分～17時30分）で、1日は研究日（外勤日）です。
土日は休日となります（業務に慣れてこられたら、月2-3日程度の週末当番をお願いすることになります）。当直はありません。

★現在、当院緩和ケア科医師は、男性2人・女性３人で、子育てや介護などライフワークに沿って時短勤務などの相談が可能です。

★給与は大学病院ということもあり、決して期待できるものではありませんが、外勤と組み合わせて何とかやっていけます。
在宅医療の研修は外勤と兼ねてご相談が可能です。

★初期研修を修了された方はどなたでもご応募いただけます。

★手前みそではありますが、緩和ケア科の医師は優しく、
緩和ケア病棟の看護師さんはじめスタッフも良い方ばかりです。
働きやすさ・勤務環境の良さには自信があります。



**【診療科長】**
佐藤 信吾

**【指導責任者】**
医局長・外来医長：
野里 洵子

病棟医長：
佐藤 信吾

**【緩和医療学会専門医】**
指導医　1名
専門医　1名

・研修期間は月～年単位まで希望に合わせてご相談しています。
・上記内容にご興味ある方は、お気軽に野里・佐藤までご連絡ください。
見学の日程などご相談したいと思います。
・緩和医療を学びたい方とのご縁があることを願いつつ、ご連絡をお待ちしております。

**問い合わせ先**

〒113-8519　東京都文京区湯島1-5-45　東京科学大学病院
緩和ケア科　野里 洵子　nozatoj.canc@tmd.ac.jp
佐藤 信吾　satoshin.phy2@tmd.ac.jp

医療法人社団 悠翔会
東京都練馬区｜在宅緩和ケア

# 悠翔会くらしケアクリニック練馬
YUSHOUKAI KURASHI-CARE CLINIC NERIMA

ID：14

# Hospital/Hospice at Home (HaH)を専門的緩和ケアから共に実装する!!

*がん治療も在宅緩和ケアで支える*
*Integration of Oncology & Home supportive care: IOH*

がん治療中のサポーティブケアから、難しい疾患への専門的緩和ケア、価値観に沿ったお看取り、そしてグリーフまで地域の中で、地域と共に生きる。病院と地域の境界を越えて、地域と伴走する在宅緩和ケアを、東京で強く意識&実装しています。



| 日本緩和医療学会 | 機能強化型 | 24時間365日 | がん・非がん | 練馬・板橋・豊島 |
|---|---|---|---|---|
| 認定研修施設（基幹施設） | 在宅療養支援診療所 | 往診・看取り対応 | 疾患・年齢を問わず | 中野・北区（一部） |

## 新しい在宅緩和ケアのかたちを魅せる！ *What theme is in our team?*

### 01 専門的緩和ケアを、「生活の場」で極める

日本緩和医療学会 指導医や緩和ケアに関わる専門家が勤務。難治性の痛みや呼吸困難、せん妄、精神心理のケアまで、病院/ホスピスと同等以上のロジックで考え、実践します。

### 02 がん治療医と組むIOH（在宅サポーティブケア）

抗がん治療中から在宅で併診し、有害事象の初期対応や症状緩和からアドバンスケアプランニングまで担います。「治療」と「緩和ケア」を分けない、地域を守る。→裏面特集

### 03 病院や緩和ケア病棟と同等の医療を届ける Hospital / Hospice at Home

大方の点滴製剤、持続注射、ひいては持続鎮静まで。地域の24時間対応の訪問看護・薬局と連携し、「自宅で入院／緩和ケア病棟を実装する」体制をつくっています。

### 04 地域を丸ごとスキルアップ！“ヨコテンカイ”活動から、Clinical Questionを研究に持ち込む！

組織の壁を越えた地域開放型の学びの場を主催し、地域医療にどっぷり浸かります。日本中の緩和ケア研究機関と連携し、臨床の問いを研究として形にする道も開かれています。

## 地域医療が、いちばんの教科書 *Our team*

| | | |
|---|---|---|
| **医師・指導医(緩和ケア)** 5<br>常勤3・非常勤2。緩和ケア、老年医学、膠原病内科、家庭医療、神経内科、精神科の専門家 | **看護師** 4<br>訪問看護、がん拠点病院、特定機能病院、施設看護を経た在宅緩和ケアの担い手 | **診療アシスタント** 4<br>運転・訪問ルート調整に加え、診療も温かくサポート |
| **アクティブな相談員** 2<br>医療ソーシャルワーカー、精神保健福祉士。地域活動も協働し地域のハブに！ | **医療事務** 2<br>地域と院内をつなぐ要、アシスタントとしても活躍！ | **理学療法士** NEW<br>2026年4月、訪問リハビリテーション事業部を開設！食とリハから療養や命の希望も繋ぐ |

BACKUP

### 大規模在宅療養支援診療所で在宅医療の今後を考える

悠翔会の24時間コールセンターと当直医体制が夜間・休日の対応を支えます。持続可能な働き方とは何か、地域へのアプローチとは？

**25拠点**
悠翔会 全国

**4,000名超**
2017年開院以来
当院が関わった患者さん



“緩和ケアの専門家として地域で実装し、プライマリケアと協働する。その先に「住み慣れた場所で最期まで“よく”生きる」を叶える社会が待っています。一緒に汗をかいてみませんか？

**院長　田上 恵太** 日本緩和医療学会 専門医・指導医
東北大学大学院医学系研究科 緩和医療学分野／一般社団法人IPP研究会　設立理事

**こんな方、歓迎です**
緩和医療専門医をめざす方／がん治療に関わっていく、総合診療医/家庭医としての幅を広げたい方／在宅医療を社会実装したい方

FEATURE ｜ 特集

# 積極的治療の途中から、その先までを シームレスに自宅で支えていく。

*IOH × Hospital / Hospice at Home*
くらしケアクリニック練馬が
いま、社会実装していること

## FEATURE 01 *Integration of Oncology & Home supportive care*

## がん治療中から、在宅が伴走する「IOH」

**がん拠点病院・がん治療病院への“早期からの在宅緩和ケア連携”の提案**

治療を続けたい。けれど「一人では通院できない」「点滴が必要」「つらい症状が出てきた」——その時点で在宅緩和ケアの併診を始めます。

症状緩和や抗がん治療の有害事象への初期対応は在宅療養支援診療所が担い、がん治療医は治療に集中できる。同時に「緩和ケア〜終末期ケアも自宅でできる」という選択肢を早くから共有し、アドバンス・ケア・プランニングを積極的に進めます。



IOHに関する海外からの研修も
受け入れています!!

| | | | |
|---|---|---|---|
| がん治療病院 | 抗がん治療・画像評価・治療方針の決定 | | |
| くらしケア練馬 | 併診開始 | 症状緩和・有害事象対応・看取り・グリーフ | |
| | **治療中**<br>通院で抗がん治療を継続 | **在宅併診**<br>臨時受診が増え始めたら、在宅が症状と有害事象を先回り | **移行期**<br>治療の継続・終了をともに考えるACP |
| | | | **最期〜死後**<br>自宅での看取り、遺族のグリーフサポート |

**併診のサイン**　一人で通院できない　生活に支援が必要　つらい症状の出現

**高齢、一人暮らし、ADL低下傾向…「がん治療をもう少し頑張りたい…」「今年の有馬記念をみたいんだ・・」治療も生活もまるっと支えたい！**
同じ地域に住む方の希望を支えたい。治療医と協働してがん治療を支える、生活やアドバンスケアプランニングを支えていく。治療〜その先も見据えてシームレスに支えていきます。

## FEATURE 02 *Hospital / Hospice at Home*

## 自宅が、入院病棟/ホスピス・緩和ケア病棟になる。

**いかなる病状でも「家で最期までよく生きたい」を、一つでも多くの工夫で支える**

医療依存度が高くなっても、急性期であっても、生活の場を選び続けられる医療を提供する。24時間対応訪問看護・薬局と密接に連携。患者・家族に医療管理の負担や責任を転嫁しない。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **点滴/注射製剤の施行**<br>抗生物質等を中心に大方の種類が在宅で使用可能 | **持続注射・持続鎮静**<br>難治性症状を遷延させないよう専門的に対応 | **24時間の看護・薬局**<br>地域に想いを共にする仲間達と協働して介入 | **訪問リハ・栄養**<br>最期まで「動く・食べる」を支える |
| **アドバンスケアプランニング**<br>治療中から、望む場所と生き方を共有 | **下り搬送が目標！**<br>地域の病院と連携し、システム構築へ！ | **非がんの緩和ケア**<br>心不全・呼吸不全・神経難病など何でも対応 | **グリーフサポート**<br>死後も、地域で家族に伴走。コンパッション |



**工夫一つで自宅でできるケアや治療は結構あるんだよ！！**
No More!! "病院に行くしかないんです"
もちOK：患者さんが病院を選ぶこと

## 地域に良き“おせっかい”を — ヨコテンカイ *Social implementation*



**おくすりヨコテンカイ**
病院薬剤師・薬局・在宅診療所・訪問看護が「顔の見える関係」で"適切な薬物療法"を繋ぐ



**ネリマヨコテンカイ**
3診療所＋訪問看護の有志で四季毎に開催する地域開放型勉強会



**ケアカフェねりま**
医療・介護・教育・行政・宗教者まで、ケアに携わる人のワールドカフェ



**地域で共に生きるということ**
地域の神社のお祭りに救護班として参戦！
**「地域に良きおせっかい」がCLのテーマ！**

## まずは在宅緩和ケアの現場へ一緒に同行しませんか？？

医学生・医師の皆さん、看護師・薬剤師・ケアマネジャ・医療社会福祉士、職種を問わず見学を随時受け入れています。
専門医取得、在宅医療の社会実装、研究——あなたの目的に合わせてご相談ください。


見学・研修・飲み会のご相談　**TEL 03-6914-8008**
田上恵太(たがみけいた)　keita.genuine@gmail.com
〒176-0003 東京都練馬区羽沢1-22-11
最寄り駅：西武有楽町線 新桜台


クリニック
ホームページ

悠翔会
医師採用サイト

ID：15

～医学生・若手医師のための緩和ケアセミナー～

# 横浜南共済病院 緩和支持療法科

当科は、日本緩和医療学会認定の基幹施設です。患者さんのその時々のQOLを最大限に引き出すことを目指し、必要な知識、思考、技能を習得できる研修を提供しています。将来のキャリアパスを見据えながら、専門的な緩和ケアをしっかり身につけたい先生方が、安心して学べる環境づくりに努めています。

## 当科の特徴・強み

### 1.ガイドライン作成に携わる指導医のもとで

・学会のガイドラインの統括責任者が在籍しており、最新のエビデ ンスベースの実践を身に付けられます。

・背景となった議論やエビデンスの強弱、現場での適用上の工夫や“ニュアンス”を深く理解することができます。

・研究の不足領域を把握しており、将来必要なテーマの方向性、最終的な学会発表や論文執筆まで指導を受けられます。

### 2.神奈川県内でのキャリア形成をサポート

・「かながわ緩和ケア医キャリアパス説明会」の代表幹事として、県内の求人情報やキャリアパスの集約・会の運営をしています。

・研修後も県内でキャリアを積みたい先生にとって、情報交換や将来の相談がしやすい環境です。

・将来の進路や勤務地に関する安心感をもって学べる環境です。

### 3.全国的な研究ネットワークへの参加

・「Palliative care Investigators NetworK（PINK）」の世話人が在籍しており、全国の先生方と交流する機会があり、関心があれば共同研究や学会発表などに参加することも可能です。

・比較的新しい分野である緩和ケアの発展に寄与できます。

### 4.キャリアと生活に合わせた柔軟な働き方

・常勤の方はこれまでのキャリアを尊重したポジションで採用いたします。

・週4日午前のみなど、育児やライフスタイル、訪問診療への異動準備などに合わせた勤務形態もご相談に応じます。

・すでにキャリアを重ねた方、家庭を支えている方も安心してご応募ください。

2025年度 診療実績：緩和ケア病棟入院　218人/年　　緩和ケアチーム 介入　233件/年

総合病院ならではの幅広い症例と薬剤選択肢があり、基本から難渋する症状まで、しっかりとした経験を積むことができる症例数です。緩和ケア病棟からチーム、外来、訪問診療（外勤）までシームレスな研修が可能です。

【研修中の医師】在宅医からの学び直し・専門医取得を目指す医師1名
血液内科から転向し、緩和医療専門医を目指す医師1名

それぞれの目標に向かって
日々研修に励んでいます！

こんな先生をお待ちしています！

- 現在の専門科での経験を活かし、新たに緩和ケア医として活躍したい先生
- 将来的に在宅・訪問診療への転向を視野に入れ、ベースとなる緩和ケアを学びたい先生
- 日本緩和医療学会 緩和医療専門医の取得を目標としている先生
- 育児やライフイベントと両立しながら、無理なく専門性を磨きたい先生




見学やキャリア相談は随時、メール一本で
受け付けています。お気軽にご連絡ください。

国家公務員共済組合連合会
**横浜南共済病院　緩和支持療法科**
神奈川県横浜市金沢区六浦東1-21-1　TEL: 045-782-2101（代表）



連絡先：統括部長　馬渡弘典
E-mail: hiromawa @ gmail.com
日本緩和医療学会緩和医療指導医・理事・ガイドライン統括委員長
がん疼痛薬物療法ガイドライン改訂WPG員長のほか
複数のガイドライン作成・改訂に関与
かながわ緩和ケア医キャリアパス説明会　代表幹事






ID：16

# 富山県立中央病院緩和ケア科 専門研修プログラム

TOYAMA PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL

## 【富山県立中央病院の概要】

### 県内唯一の県立総合病院

病床数665床、標榜科35診療科目、常勤医師数235名
地域医療支援病院、都道府県がん診療連携拠点病院、基幹災害拠点病院
難病診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院、臨床研修病院等

### 県内唯一の都道府県がん診療連携拠点病院

専門的・先進的ながん医療を提供
県内各地の「地域がん診療連携拠点病院」と連携・協力
富山県全体のがん診療の質の向上への取り組み




## 緩和ケアセンター





### 緩和ケア外来

令和7年度実績

・新規外来患者 145人
・のべ外来患者 1521人

外来は毎日行っています。

診断され時から治療中、治療が難しくなった方までのがん・非がん患者を対象としています。



### 緩和ケアチーム

令和7年度実績

・新規介入患者 265人
・のべ回診患者 5633人

毎日回診を行っています。

多職種で対応し、症状コントロールだけでなく気持ちのつらさや今後の過ごし方の相談なども行っています。



### 緩和ケア病棟

平成4年開設
個室25床

令和7年度実績

・入院患者　241人
・病床稼働率　81％

緩和ケア病棟で最期まで過ごされる患者、退院される患者、レスパイト入院などさまざまな過ごし方ができるよう対応しています。

## 【富山県立中央病院緩和ケア科専門研修プログラムの概要】

日本緩和医療学会緩和医療専門医研修カリキュラム2017 年版Ver.1.4に準拠

- 院内の緩和ケア診療 （緩和ケア病棟・緩和ケアチーム・緩和ケア外来）
- 院内外の緩和ケア関連の活動・教育・指導等
- 院内外の多職種、多施設連携
- 県内外の他施設での緩和ケア研修
- 県内外の診療所等での在宅緩和ケア研修
- 2年間の研修で日本緩和医療学会専門医の取得が可能

指導医師



船木 康二郎
日本緩和医療学会
専門医・指導医



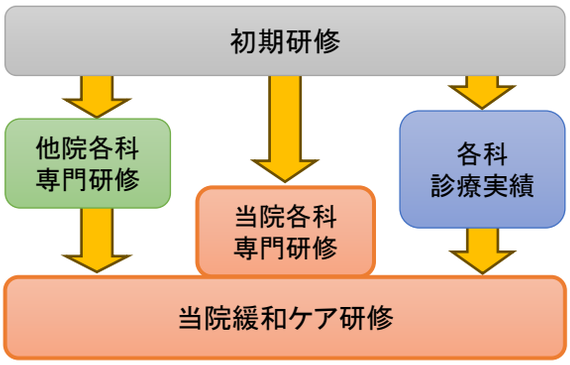
峠 正義
日本緩和医療学会
専門医

富山県立中央病院緩和ケア科
専門研修プログラム

## 【募集対象者】

**日本専門医機構基本領域専門医取得者**
**又はそれと同等と考えられる経験・実績がある医師**

※当院の他の専門研修プログラム（3年～）を終了後に上記プログラムに参加することも可能
（例：当院内科専門研修3年＋緩和ケア専門研修2年⇒内科専門医と緩和医療専門医が取得可能）
※上記以外の医師や2年未満の研修については別に対象者に合わせて研修や見学、短期研修が可能




## 【研修期間と研修内容】

### 研修期間　2～3年

研修者が希望する研修内容に合わせて
研修期間を決定する。

### 研修内容

**日本緩和医療学会**
**緩和医療専門医研修カリキュラム2017年版Ver.1.4に準拠**

研修期間や研修者の希望に合わせて個別に研修の内容を作成する。
2年間の研修で日本緩和医療学会専門医試験申請に必要な要件の取得が可能。

## 【研修スケジュール例】

| 研修年 | 月 | 研修・行事予定 |
|---|---|---|
| 1年目 | 4月 | 研修開始、オリエンテーション<br>他職種の緩和ケア業務体験<br>（緩和ケア病棟で日勤・夜勤看護師業務体験等）<br>指導医と共に担当医として診療を行う |
| | 6月 | 日本緩和医療学会参加 |
| | 9月 | 半年間の研修の振り返りと研修内容の見直し |
| | 10月 | 院内緩和ケア研修会にファシリテーター参加 |
| | 10月以降 | 近隣緩和ケア施設・在宅施設の見学・研修 |
| | 3月 | 北陸緩和医療研究会参加<br>1年間の研修の振り返りと研修内容の見直し |
| 2年目 | 4月 | 主治医として診療 |
| | 6月 | 日本緩和医療学会参加・発表 |
| 以後 | | 院内外医療従事者向け勉強会の企画・開催<br>緩和ケア関連研究会・学会の参加・発表 |
| 研修者毎 | | 県内・外の緩和ケア施設での短期見学・研修<br>県内・外の緩和ケア施設での数週間の研修<br>在宅緩和ケアの見学・研修<br>日本緩和医療学会専門医取得に向けた準備 |
| | 3月 | 研修内容の振り返り |

## 【研修中の週間スケジュール】

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土・日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 8:40 | 緩和ケア病棟申し送り参加 | | | | | 週末当番<br>（完全交代制） |
| 8:50 | 緩和ケア病棟患者回診 | | | | | |
| 午前中 | 緩和ケア病棟患者対応・緩和ケア外来・緩和ケアチーム回診 | | | | | |
| 午後 | 緩和ケア病棟<br>入棟面談 | 緩和ケアチーム<br>カンファレンス | 緩和ケア病棟<br>入棟面談 | 緩和ケア病棟<br>カンファレンス | 緩和ケア病棟<br>入棟面談 | |
| 16:00 | 緩和ケア病棟入棟判定会議 | | | | | |
| 夜間 | 夜間緩和ケア科拘束（完全交代制） | | | | | |





## 【身分・処遇等】

当院の規定に基づき各研修者毎
に身分・処遇等を決定する。

## 【問い合わせ先】

富山県立中央病院経営管理課
〒930-8550
富山県富山市西長江2丁目2番78号
TEL.076-424-1531（代表）

## 【質問・相談など】

緩和ケアセンター部長
舩木　康二郎
funaki@tch.pref.toyama.jp
※お気軽にご連絡ください。



ID：17

# 聖隷三方原病院

## ホスピス科・緩和支持治療科

静岡県浜松市

## ー聖隷三方原病院の7つの特色ー

| | |
|---|---|
| **1 全人的ケアを学べるホスピス病棟** | 主治医としてじっくりと患者さん・ご家族と関わりを持ち、多職種チームでのチーム医療の実践を学べます |
| **2 幅広い病期の緩和ケアチーム活動** | 多様な病期やセッティングでのコンサルテーション業務を主治医や病棟スタッフと有機的にチームを組んで実践しています |
| **3 臨床研究の実践** | 観察研究、RCT、国内外の共同研究などを積極的に行い、優れた臨床につながるようにフィードバックしています |
| **4 知識アップデート & 論文執筆支援** | 院内抄読会、多施設抄読会を定期開催しています<br>研究、論文執筆・投稿の相談や支援が可能です |
| **5 豊富な研修受け入れ実績** | 毎年研修を目的とした医師・研修医を受け入れています<br>短期間の研修についても相談に乗っています |
| **6 ガイドライン・教科書執筆への参画** | 診療ガイドライン、教科書、雑誌の編集執筆に携わる医師が在籍しており、専門的指導や助言を受けられます |
| **7 ワークライフバランス重視** | ホスピス科は主治医制ですが、夜間・休日は当番制のため当番以外の時はしっかり休めます |

## ことはなNet：東海エリアの3施設連携の研修プログラムあり

- 浜松-名古屋-小牧で多彩な症例・現場を経験できる
- 内科専門医＋緩和医療専門医を目指せる
- 柔軟な対応でキャリアパスをサポート

ことはなNet

緩和ケア医・精神腫瘍医
キャリアサポートネットワーク 東海

**TO**kai(**KO**maki-**HA**mamatsu-**NA**goya)-**Net**work
for enhancing the career development of palliative physician, psycho-oncologist and medical oncologist




聖隷三方原病院
・ホスピス
・緩和ケアチーム

名古屋市立大学病院
・サイコオンコロジー
・緩和ケアチーム
NCUPCT

在宅緩和ケアあすなろ医院
・在宅緩和ケア
・緩和ケア外来

3 施設
コラボレーション

**緩和医療(病棟/在宅/チーム)、サイコオンコロジーを集中的に学びませんか？**
**東海圏(浜松-名古屋-小牧)で、緩和ケア医・精神腫瘍医のキャリアをサポートします**

- 2-3年のモデルコースあり。プログラムの組み方は相談応需。
- 女性医師を始め、さまざまなライフステージを支援します。
- 臨床研究をはじめたい方を支援します(学位も取得できます)。
- 内科専門医(サブスペ領域含む)取得に関しては、名古屋市立大学病院もしくは聖隷三方原病院を基盤とするプログラムで、卒後3年目からのキャリアパスも支援します。

**【研修モデル例】**

**モデル１：内科専門＋緩和専門コース**

1～3年目：内科専門医研修（浜松または 名古屋で後期研修）
4～6年目：緩和医療専門医研修（ことなはNet3施設で3年）

**モデル２：緩和専門コース**

ことはなNet３施設（浜松、名古屋、小牧）で1年づつ3年間

**モデル３：短期集中コース**

聖隷三方原病院で１～２年間

**【施設概要（聖隷三方原病院）】**

・934床（一般810、精神104、結核20）がん診療連携拠点病院
・1981年：日本初のホスピス開設
・ホスピス病棟：27床、年間入院約350名
・緩和ケアチーム：年間新規依頼約270件

**【指導医体制】**

・指導医3名、認定医2名
・ホスピス科（医師5名）、緩和支持治療科（医師3名）

**【応募・見学案内】**

対象：医学生・初期／後期研修医・若手医師
期間：日～年単位（希望に応じて調整）
応募方法：Eメールまたは電話にて連絡





ホスピス病棟での多職種カンファレンス



緩和ケアチームの定期ミーティング

【連絡先】
聖隷三方原病院 ホスピス科　今井堅吾　imaiken58767@gmail.com
緩和支持治療科 森　雅紀　masanori.mori@sis.seirei.or.jp
〒433-8558　浜松市北区三方原町3453
053-436-1251



静岡県立
静岡がんセンター

ShizuokaCancerCenter

ID:18

# 静岡県立静岡がんセンター
# 緩和医療科の概要

第14回医学生・若手セミナー
2026/11/07 @仙台

静岡県立静岡がんセンター　緩和医療科
佐藤哲観、大野茂樹、川村泰一、福富晃、石川ゆりか、片岡美紀子、百合草祥子、安達勇

## 1. 静岡県立静岡がんセンターの概要

2002年開院、静岡県立のがん専門病院
全国有数のがん専門施設（特定機能病院・がんゲノム医療中核拠点）
病床数：**615床**（うち**緩和ケア病棟50床は全国最大規模のクラス**）
陽子線治療など先端医療を提供
アクセス：静岡県駿東郡長泉町（三島駅から車で約20分）
🏔 **富士山を望む自然豊かな環境**で、首都圏からもアクセス良好
🌿 気候は温暖で、物価も比較的安定しており、子育て支援も充実し、**暮らしやすさ抜群**
🚄 新幹線利用で**東京から1時間、名古屋から2時間前後**、休日の移動や帰省も快適




## 2. 緩和医療科の業務内容

がん治療のあらゆる段階で、患者さん・ご家族を支える緩和医療・緩和ケアを提供
**緩和ケア病棟**：**年間500人以上**が緩和ケア病棟を利用、症状緩和から看取りまで幅広く対応
**緩和ケアチーム**：**年間600件以上**の新規依頼に対応し、**直接介入**により多職種で身体症状・精神症状に対応
**緩和ケア外来**：症状コントロールや意思決定支援などの相談窓口、**神経ブロック外来**も開設
**高い専門性**：**放射線治療やIVR、神経ブロック療法**など高度な集学的治療も積極的に活用
**教育・連携**：**緩和ケア研修会や地域連携カンファレンス**を定期開催、各診療科とのカンファレンスにも参加
**地域からの信頼**：**院外からの患者も積極的に受け入れ**、地域医療機関との「顔の見える」協力体制を強化




## 3. 緩和医療科の紹介と魅力

・がんのあらゆる段階で症状緩和を担い、患者の思いに寄り添いながら患者・家族を支える診療科です。
・内科・外科・麻酔科など、**多様なバックグラウンドを持つ医師**が在籍し、幅広い視点から診療にあたっています。
外来・病棟業務に加え、**研修会・学会発表、英語論文発表などの活動**も積極的に行っています。
**・学生・レジデント教育にも力を入れており**、多職種チームの一員として学べる環境があります。
・3名の公認心理師が所属しています。
・がん専門病院ならではの**症例数と幅広さ、チーム医療の最前線**を体験できるのが当科の魅力です。



## 4.業務スケジュール（緩和ケア病棟での1週間）

| 曜日 | 午前 | 午後 |
|---|---|---|
| 月 | 病棟回診・新規依頼 | 外来診療／カンファレンス |
| 火 | 病棟回診/療養先面談 | 神経ブロック外来 |
| 水 | 病棟回診/新規依頼 | 緩和ケアチームカンファ |
| 木 | 病棟回診/初回面談 | 外来診療／地域連携 |
| 金 | 病棟回診/入棟カンファ | 症状再評価／書類 |

**8:30**
- 病棟回診（患者さんと直接向き合い、症状を丁寧にチェック）
- 新規依頼確認（症状緩和や入院の依頼を確認し、最適なケアへつなぐ）

**10：00**
- 症状マネジメント（痛みや呼吸困難等多様な症状に、きめ細やかな薬物療法を実践）
- 家族対応（ご家族の不安に寄り添い、安心を支える）

**12：00**
- 昼休憩（11階のレストランから富士山を眺めながら食事も可能）

**13：00**
- 外来診療（症状緩和や療養相談を通じて学びを深める）
- チームカンファレンス（多職種で議論し、チーム医療の神髄を学ぶ）

**15：00**
- 依頼対応（飛び込みの依頼にも即応し、症状緩和を迅速に提供）
- 症例検討（症例を振り返り、学びと成長を深める）

**17：00**
- 記録（正確な記録で情報共有、表彰される質の高さ）
- 情報共有・再評価（様々な専門家の視点からアドバイスを得て、診療を再評価）

## 5. 教育カリキュラム

**病棟研修**：患者・家族と向き合い、多職種による専門性の高い症状コントロールや意思決定支援を実践
**チーム研修**：チーム・ラウンドや多職種カンファレンスに参加し、緻密な症状緩和や病棟スタッフとの協働を体験
**外来研修**：症状緩和・意思決定支援・神経ブロックの見学
**学会・研究**：学会発表や論文作成のサポート、研究活動に参加可能、研究支援体制は非常に充実しています！
**研修会・セミナー**：院内外における研修会で参加・指導
「臨床腫瘍学コース」でがん医療全般について学べる
**期間の選択**：1～2年の長期研修から、1～3か月の短期研修まで、希望にあわせて柔軟に対応
**キャリア形成**：学会発表や専門医資格の取得に直結する教育体制
**症状コントロール**：専門性の高いオピオイド調整、鎮静導入、嘔気・便秘・呼吸困難への対応、神経ブロックの実施
**コミュニケーション**：病状説明・意思決定支援に同席、臨床倫理を学ぶ、「なぜそう思うのか」を大切に
**多職種カンファレンス**：医師・看護師・薬剤師・公認心理師・MSWとの協働
**外来・手技**：外来診療や神経ブロックの実際を学ぶ
**緩和ケア病棟**：症状緩和から看取りまでのケアを経験

## 6. 医学生・若手医師へのメッセージ

静岡県立静岡がんセンターは、最先端のがん診療とともに、緩和医療の新しい形を切り拓くフィールドです。緩和医療科では、患者さんとご家族に寄り添い、多職種と共に**チーム医療の真髄を体感できます。**
ここでは、日々の臨床の中で自然と学びが積み重なり、症例の豊富さと幅広さを通じて、一人ひとりの医師が確実に成長できます。学会発表や研究の機会も多く、**あなたのチャレンジ精神を存分に発揮できる環境があります。**
福利厚生やワークライフバランスも整っており、キャリア志向の方にも、生活を大切にしたい方にも、どちらにも応えられる働き方が可能です。ママさん医師も育メン医師も大いに活躍中！
**「熱意と協調性を持つ方なら、必ず輝ける舞台がここにあります。」**
一歩を踏み出す勇気を、私たちは全力で応援します。



第14回 医学生・若手医師のための緩和ケアセミナー

**緩和医療の専門的な研修のプログラム紹介**

# 愛知医科大学病院 緩和ケアセンター 緩和ケア研修プログラム



## 研修プログラムの特徴

1. 大学病院緩和ケアセンターのスタッフとして緩和ケアチームや外来診療を担当
2. 余裕のある研修プログラム
3. 多様ながん種、病態、さまざまな治療を受けている患者さんのコンサルテーションを経験
4. 代謝栄養を念頭においた全人的緩和ケアの修得
5. 大学施設を背景に豊富な人材、ハード＆ソフトの充実した環境下での研修
6. 研究、論文作成の強力なアシスト体制
7. 大学院博士課程を修了し学位取得も可能
8. 連携する緩和ケア病棟、在宅医療施設多数

## 愛知医科大学病院



病床数：900床
診療科：21科
外来患者数:約2700人
特定機能病院
地域がん診療連携拠点病院



名物ドクターヘリ

図書館






名古屋市に隣接する長久手市にあり（長久手市は全国の住みよい都市top10にランクイン）

## 緩和ケアセンター

緩和ケアチームの活動を中心に、愛知医科大学病院に入院中、あるいは通院中の患者さんをサポートしています。主にがん患者さんを対象としていますが、心不全をはじめとする良性疾患患者さんのサポートも行っています。また、代謝栄養に重点を置き、悪液質、サルコペニアのマネジメントや研究も行っています。

2025年度
緩和ケアチーム
介入新規症例数
**443例**
(入院・外来のべ)

週2回の緩和ケアチームのカンファレンス




緩和ケアチームスタッフ

| 職　名 | 氏　名 | 所　属 |
|---|---|---|
| センター長、身体症状担当医師 | 森 直治 | 緩和ケアセンター教授 |
| 副センター長、精神症状担当医師 | 西原真理 | いたみセンター教授 |
| 身体症状担当医師 (pain clinic) | 新井健一 | 疼痛緩和外科 准教授 |
| 身体症状担当医師 （循環器） | 藤本匡伸 | 循環器内科　助教 |
| 身体症状担当医師 | 藤本裕基 | 婦人科 助教 |
| 精神症状担当医師 | 藤田貴平 | 精神神経科　助教 |
| 歯科医師 | 林 富雄 | 歯科口腔外科　講師 |
| 緩和ケア認定看護師 | 今野悠美 | 看護部 |
| がん性疼痛認定看護師 | 安永ちはる | 看護部 |
| 薬剤師 （緩和薬物療法認定薬剤師） | 加藤涼子 | 薬剤部 |
| 薬剤師 | 小園友明 | 薬剤部 |
| 公認心理師 | 酒井玲子 | こころのｹｱセンター副技師長 |
| 公認心理師 | 松浦 渉 | こころのｹｱセンター |
| 専任の相談支援に携わる医療者 | 森下祐一 | 医療福祉相談部 主任(MSW) |
| 管理栄養士 | 土田実佳 | 栄養部 |
| 歯科衛生士 | 松田真弓 | 緩和ケアセンター専従 |
| 作業療法士 | 鈴木雅人 | リハビリテーション部 |
| 事務 | 加藤佑輝 | 病院管理課 |
| 事務 | 杉浦芳奈 | 医務課 |

## 研修プログラムの概要

1. 研修期間：6ヶ月～2年
2. 到達目標：緩和医療専門医の取得に必要な症例経験、診察能力、治療能力、コミュニケ ーション能力の修得、論文作成（論文は1～2編/年）
3. 日本緩和医療学会緩和医療専門医 研修カリキュラム 準拠
4. 緩和ケアチームの専従あるいは専任医師として緩和ケアに取り組む　外来は午前中週1回担当
5. 腫瘍学の知識修得のため、大学の特別講義、講演を聴講
6. 大学病院のキャンサーボードに参加（月2～3回）
7. 最新の緩和医療の知識を得るため週2回の抄読会参加
8. 連携する緩和ケア病棟、在宅医療施設での研修
9. 随時 研究指導、月2回研究ミーティングでフォローアップ
10. 学会参加・発表は2回/年以上（発表時は参加費、旅費等を研究室で負担）
11. 希望者は大学院の博士課程を修了し、学位取得が可能（裏面参照）
12. 夜間や休日はイベントが無ければ自由。研究したい方、患者さんを診たい方は大学病院、大学施設で時間外活動も思いっきり!! 研究室や図書館も充実！



研究ミーティング

プログラム責任者: 大学院医学研究科 緩和・支持医療学 教授，緩和ケアセンター 部長　森 直治

第14回 医学生・若手医師のための緩和ケアセミナー

**緩和医療の専門的な研修のプログラム紹介**

## スケジュール




- ✓ 週休2日勤務・研修体制
- ✓ 週に1日半の学外研修・外勤（在宅、緩和ケア病棟、一般病院）
- ✓ 月1回 地域連携のカンファレンスに参加（第3木曜18時-19時、下記記事参照）
- ✓ 月1回 土曜午前に代謝栄養に関する勉強会が愛知医大で開催、 参加は任意
- ✓ キャンサーボードが必要に応じ開催され（ 月に2-3回程度）、緩和ケアチームとして参加
- ✓ 愛知医科大学病院緩和ケア研修会(年3回程度開催）にファシリテーターとして参加
- ✓ 月に2回研究ミーティングを開催　大学院生、研究生と研究の進捗のチェック、問題点のディスカッション

## 研修指導者





森 直治
教授・部長
医学博士
緩和ケア専門医・指導医

質の高い緩和医療に一緒に取り組みましょう！

### 【ホスピス緩和ケア週間のYouTube動画】

https://www.youtube.com/watch?v=ZbFt1adwPs4

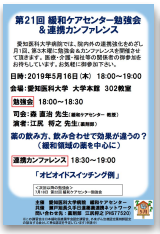
「愛知医科大学　緩和ケア」で検索して下さい。




## 緩和ケアセンター勉強会＆地域連携カンファレンス

第３木曜日　18:00～19:00

＊オンライン(Zoom)と現地開催で開催してます。






当センター発信の勉強会情報をメールでお知らせします。受信を希望される方はQRコードからご登録ください。

## 日本緩和医療学会専門医

2024年度　1名取得

## 学会発表　2024年度分

- 日本緩和医療学会 5題
- 日本死の臨床研究会 1題
- 日本がんサポーティブケア学会 2題

## 論文 執筆 業績

多数あります。HPをご覧下さい。
https://palamu.org/研究・活動報告/




## 講演・特別講義

緩和ケアのエキスパートの先生方に講演、講義に来て頂き、質の向上に取り組んでます



2018年以降に御講演頂いた先生方

| | |
|---|---|
| 柏木哲夫先生 | 西川満則先生 |
| 木澤義之先生 | 上村恵一先生 |
| 高宮有介先生 | 大石醒悟先生 |
| 長尾和宏先生 | 大橋洋平先生 |
| 片山寛次先生 | 余宮きのみ先生 |
| 有賀悦子先生 | 會津恵司先生 |
| 松原貴子先生 | 渡邊紘章先生 |
| 明智龍男先生 | 里見絵理子先生 |
| 森田達也先生 | 田上恵太先生 |
| 池永昌之先生 | 馬渡弘典先生 |

## 緩和ケアセンター スタッフ　募集中！

- ✓ 講師
- ✓ 助教
- ✓ 大学院生

緩和医療、支持医療に取り組みたい方、未来を背負う学生、若手医師を育成したい方、緩和医療や患液質のエビデンスを発信し世の中を変えたい方を募集中です。お気軽に下記アドレスまでご連絡下さい。

kanwa@aichi-med-u.ac.jp

学位取得希望の方は大学院博士課程を!!

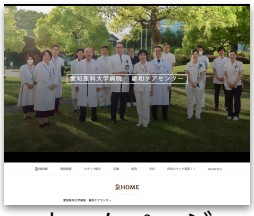
## 大学院医学研究科（博士課程）「緩和・支持医療学」

指導教授：森 直治

研究テーマ

- •全人的苦痛に対する緩和医療
- •チームアプローチによる支持医療
- •がん患者の代謝変化・悪液質の病態解明と対策
- •サルコペニアの病態解明と対策

その他詳しい情報は下記をご覧下さい!!



ホームページ
https://palamu.org




Facebookページ

# 岡崎市民病院 緩和ケア内科

ID：20



当院は、愛知県岡崎市（人口38万）にある高度急性期を中心とした680床の基幹病院です。2019年に愛知県がんセンター愛知病院と統合し、緩和ケアを含むがん診療機能が強化されました。緩和ケアの主要部門である緩和ケア外来、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟を持ち、地域の関係機関と連携し、質の高い緩和ケアを提供できるよう取り組んでいます。



## がんサポート外来　外来日：月～金

### 外来がん患者に対する早期からの緩和ケア

- 様々な苦痛症状のコンサルテーションに対応しています
- 在宅療養や緩和ケア病棟の相談なども行っています
- がん疼痛の患者さんのために**「オピオイド導入外来」**を行い、安全、安心にオピオイドが導入できるようにしています

＊2025年度新規外来数　218件/年

## 緩和ケアチーム　ラウンド日：月～金

### 入院患者の苦痛に対する多職種アプローチ

- がん患者さんだけでなく、緩和ケアが必要な非がん患者さんにも対応しています。
- 全てのオピオイド使用患者に**「オピオイド回診」**を行い、院内のオピオイド適正使用に取り組んでいます

＊2025年度新規依頼数　395件/年





## 緩和ケア病棟　20床



### 様々な入院に対応した緩和ケアの専門病棟

- 入院患者は全て緩和ケア内科が担当し、チームで診療・ケアを行っています
- 終末期だけでなく、症状コントロールや在宅療養の準備、レスパイト入院も積極的に受け入れています
- ボランティアと協力し、**アニマルセラピー**なども行っています

＊2025年度新入院数　254人/年



緩和ケア内科には、様々な経歴の5名の常勤医師が所属しています（内科、外科、麻酔科、総合診療）それぞれの経験を活かしてチームとして活動しています。



地域とともに
ウェルビーイングを創造する
岡崎市民病院
Okazaki City Hospital

# 緩和ケアレジデントプログラム

**※　注意事項**
◆ 多職種によるチーム医療を大切にしています（若干のコミュニケーション力が必要です）
◆ 忙しい急性期病院のため、あまりのんびりとはできません（でも患者さんとの時間は大切にします）
◆ 田舎ではありませんが、都会で暮らしたい方にはあまりお勧めできません（緑は豊かです）

## 【プログラムの概要】

**1　研修期間**　　2年間（短期研修や見学も受け入れていますのでお気軽にご連絡ください）

**2 プログラム**
日本緩和医療学会緩和医療専門医研修カリキュラム2017年版Ver.1.5準拠
（日本緩和医療学会緩和医療専門医申請に必要な研修に該当します）

**3 研修指導**

| | |
|---|---|
| 研修責任者: 佐藤尚子（緩和ケア内科部長） | 日本緩和医療学会指導医<br>日本緩和医療学会専門医<br>日本内科学会総合内科専門医 |
| 指導医: 橋本淳（緩和ケアセンター長） | 日本緩和医療学会指導医<br>日本緩和医療学会専門医<br>日本専門医機構総合診療専門領域特任指導医<br>日本プライマリ・ケア連合学会指導医、認定医 |
| 藤光康信（緩和ケア内科統括部長） | 日本外科学会認定登録医<br>日本消化器外科学会認定医 |
| 山本敦子（緩和ケア内科統括部長） | 麻酔科標榜医 |
| 早川史広（緩和ケア内科部長） | 日本消化器病学会消化器病専門医<br>日本内科学会総合内科専門医、指導医<br>日本専門医機構総合診療専門領域特任指導医<br>日本プライマリ・ケア連合学会家庭医療専門医、指導医 |

**4　週間スケジュール例**

<table>
<tr><th></th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th></tr>
<tr><td>朝</td><td colspan="5">申し送り・ショートカンファ</td></tr>
<tr><td>午前</td><td>外来診療</td><td>病棟回診</td><td>病棟回診</td><td>外来診療</td><td>病棟回診</td></tr>
<tr><td rowspan="2">午後</td><td>病棟カンファ<br>緩和チーム</td><td rowspan="2">入院相談外来</td><td rowspan="2">緩和チーム</td><td>病棟カンファ</td><td rowspan="2">入院相談外来</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>夕方</td><td colspan="5">勉強会、等</td></tr>
</table>

**5　応募資格**　　卒後臨床研修修了、または採用時に修了見込みの方
（女性医師で育児休業後などで復職希望の方も歓迎します）

**6　受付期間**　　随時　（但し、2027年度採用は2026年11月末日までに申込のこと）

**7　受入人数**　　1名

**8　選考方法**　　面接、書類選考

**9　処遇 身分**　　岡崎市正職員（岡崎市の規定に基づきます）

**10　問合せ先**　　岡崎市民病院　緩和ケア内科　佐藤尚子（さとうなおこ）
444-8553　愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1
Tel 0564-21-8111（代表）
E-Mail kanwa（あっとまーく）okazakihospital.jp



洛和会音羽病院+ピースホームケアクリニック

# 専門的緩和ケア合同研修プログラム

当プログラムは、日本緩和医療学会 認定研修施設である洛和会音羽病院と
ピースホームケアクリニックが連携して実施する合同研修プログラムです。

## 当プログラムの特長

01 病院と在宅、両方の緩和ケアを学ぶことができます

02 経験豊富な指導医たちがスキルアップやキャリア形成をサポートします

03 臨床研究や学会発表への取り組みも手厚く支援します



◀ 当院の緩和ケア内科について

地域から信頼され、大切な人を紹介できる病院へ

## 洛和会音羽病院

京都府がん診療推進病院
日本緩和医療学会 認定研修施設
ホスピス緩和ケア病棟における
質向上の取り組みに関する認証制度 認定施設

- 許可入院患者数 535人（うち緩和ケア病棟14床）
- 指導医 2名　がん看護専門看護師 1名　緩和ケア認定看護師 2名
- 緩和ケアチーム年間依頼数：131件
- 緩和ケア病棟入院面談数：284件
  1年間で入院加療された患者数：187人

※上記は2024年の1年間の診療実績

住みなれた場所で穏やかに 幸せと生きがいを届けたい

## ピースホームケアクリニック
### 京都院／大津院

日本緩和医療学会 認定研修施設
機能強化型在宅療養支援診療所
在宅緩和ケア充実診療所

- 在宅看取り患者数148人（2024年実績）
- 指導医 2名、がん看護専門看護師 1名
  緩和薬物療法認定薬剤師 1名

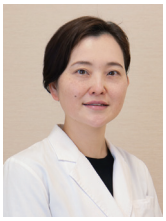





# 経験豊富な指導医が学びをサポートします！

洛和会音羽病院は、緩和ケア病棟を有する急性期病院です。PCU・PCTで治療期～終末期までさまざまな場面の緩和ケアを基礎から専門的技術まで学ぶことができます。神経ブロック等も行っています。

在宅緩和ケアでは、患者さんの生活そのものを支える視点が欠かせません。専門的な緩和ケアの実践に加え、生活や社会の仕組みについても学び、より包括的なケアを提供できる力を養いましょう。この研修は、あなたのキャリアの礎となる貴重な経験となるはずです。



洛和会音羽病院
緩和ケア内科

部長
**山代 亜紀子**

◆専門領域
緩和医療、ペインクリニック
◆専門医認定・資格など
日本緩和医療学会緩和医療指導医
日本ペインクリニック学会専門医
日本専門医機構麻酔科専門医
日本麻酔科学会指導医



ピースホームケア
クリニック

理事長
**平本 秀二**

◆専門領域
緩和医療、がん薬物療法
◆専門医認定・資格など
日本緩和医療学会緩和医療指導医
日本内科学会総合内科専門医
日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医



ピースホームケア
クリニック京都院

院長
**大屋 清文**

◆専門領域
緩和医療、総合診療
◆専門医認定・資格など
日本緩和医療学会緩和医療指導医
日本内科学会総合内科専門医

# 専門的緩和ケア合同研修プログラム プラン例

**シニアレジデント（後期研修）の場合**
**1~4年目**
（希望診療科に応じて設定）

**洛和会音羽病院シニアレジデントプログラム**
**（内科・麻酔科・外科など）**
参照：洛和会音羽病院 内科専門研修プログラム、
洛和会音羽病院 麻酔科専門研修プログラム、
洛和会音羽病院 京都 ER 救急科専門医プログラム、
洛和会音羽病院・大津 FC 総合診療研修プログラム、
洛和会音羽病院 後期研修プログラム、
京都大学外科専門研修プログラム（洛和会音羽病院 連携）

**緩和ケアプログラム 1 年目**

**洛和会音羽病院緩和ケア病棟（PCU）・緩和ケアチーム（PCT）**

**緩和ケアプログラム 2 年目**

**洛和会音羽病院（PCU＋PCT）**
**または**
**ピースホームケアクリニック（在宅）**
※研修期間・配分については希望に応じて相談

上記プランは一例です。詳細は個別にご相談ください。
ご見学や常勤・非常勤医師採用など、お気軽にご相談・お問い合わせください。

音羽病院の各専門プログラムにおけるお問い合わせ先
https://www.rakuwa-dr-recruit.jp/otowa/contact/

お問い合わせ


RKW 音羽病院
RAKUWAKAI OTOWA HOSPITAL
京都市山科区音羽珍事町 2　TEL 075（593）4111（代）
otowa-hisyo@rakuwa.or.jp　医局支援部　髙津

医療法人 平和の森
ピースホームケアクリニック
大津市神領三丁目 11 番 7 号　TEL 077（548）7663（代）
ピースホームケアクリニック京都
京都市山科区四ノ宮鎌手町11番43号
peace.oiwake@gmail.com　法人本部　橋本




ID：22

# 志高会　三菱京都病院
# 腫瘍内科・緩和ケア内科

病院理念

「高度であたたかい医療を提供する」



腫瘍内科・緩和ケア内科のミッション

常に最高レベルのがん治療・ケアを提供する



## 三菱京都病院　腫瘍内科・緩和ケア内科

### がん治療と緩和ケアの統合



診断時からの緩和ケアを実践しています。スタッフ全員が腫瘍内科・緩和ケア内科として診療にあたっています。がんと診断された方の初診から化学療法、支持治療、終末期のケアまで、一連の流れの中で患者・家族と信頼関係を構築し関わっていくことができます。

### チーム医療



188床と比較的中小規模病院ではありますが、他の診療科・他職種との垣根が非常に低く、がんやその他の疾患(心不全など)において協力して診療にあたることができます。

### 緩和ケア病棟



腫瘍内科で担当していた患者をそのまま緩和ケア病棟でも担当することも可能です。他院からの転院や在宅からの入院患者にも対応します。

### 緩和ケア訪問診療



現在は小規模ですが、自宅療養する患者にも緩和医療を提供することも可能です。

### 緩和ケアチーム



医師（精神科含む）・緩和ケア認定看護師・薬剤師・臨床心理士を中心としたメンバーで緩和ケア病棟回診のみならず、一般病棟の患者の疼痛・呼吸困難・せん妄などの相談にも対応しています。

## 研修プログラム

☞研修期間：2年間～(要相談)
☞研修認定施設：日本緩和医療学会、日本臨床腫瘍学会、他
☞資格：緩和医療学会専門医、臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医の取得を目指します。
☞応募資格：初期臨床研修修了。経験・未経験は問いませんが、がん薬物療法専門医資格取得には基本領域の専門医資格を予め取得する必要があります。
☞勤務：週5日
☞外来では初診から終末期まで化学療法や支持治療を行います。
☞入院では終末期の症状緩和だけでなく、化学療法に伴う有害事象やOncologic emergencyなどにも対応します。

※医師の働き方に配慮しています。

☞休日は交代当番制です。それぞれの医師の事情にあわせて調整しています。
☞看取りに関しては、夜間休日は当直医師に依頼しています。
☞子育て・介護など、時短勤務についても相談可能です。
☞当直など：一般当直（月2回程度）

## メンバー





**吉岡　亮**　(副院長)

**堀　哲雄**(呼吸器外科兼任)
緩和医療学会専門医・指導医
がん薬物療法専門医・指導医
呼吸器外科専門医

**八城　弘憲**
内科専門医

**岩佐　泰靖**
内科専門医

## 連絡先

**三菱京都病院**
**075-381-2111(代表)**

**〒610-8087**
**京都市西京区桂御所町１番地**

**採用情報などは上記QRコードから**

**見学など、ぜひお待ちしております！！**

## アクセス

**京都市街にも近く好立地です！**

**阪急京都線「桂駅」より徒歩15分**

**※桂駅までは**
**・京都駅から電車(京都市営地下鉄・阪急電車）で約15分**
**・大阪駅から阪急電車で約35分**

**自家用車の場合は**
**名神高速道路京都南ICから約20分**
**京都縦貫道沓掛ICから約10分**

ID：23

# 近畿大学腫瘍内科

KINDAI UNIVERSITY MEDICAL ONCOLOGY

## こんな方に近畿大学腫瘍内科がおすすめ！

- ✓ がん薬物療法と緩和ケアの両方を経験しながら自身のキャリア形成を行いたい方
- ✓ キャリアの中で複数臓器の薬物療法をまとめて経験したい緩和ケア医/総合診療医の方

## 近畿大学腫瘍内科でできること

- ✓ 2002年、大学病院として日本で初めて本格的に設立された腫瘍内科として臓器横断的にがん診療の幅広いフェーズを経験することができます。
- ✓ 医師3年目から外来診察を開始、診断から薬物療法、緩和ケアまで様々な病状の患者さんと関わることでがん診療に必要な知識を学ぶことができます。

| 2023年度　当科　新規患者数 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 胸部 | 非小細胞肺がん（疑い含む） | 234 | 乳腺 | 乳腺 | 100 |
| | 小細胞肺がん | 56 | 頭頸部 | 頭頸部扁平上皮癌 | 55 |
| | 中皮腫・その他 | 12 | | 甲状腺、唾液腺 | 12 |
| 消化管 | 食道 | 47 | 原発不明 | | 28 |
| | 胃 | 59 | 骨軟部 | | 16 |
| | 直腸・結腸 | 187 | GIST | | 7 |
| 肝胆膵 | 胆道・膵臓 | 53 | その他 | 泌尿器:3，婦人科:31, 皮膚:5, その他3 | |
| | | | 合計 | | 900 |

## 緩和ケア診療に活きる腫瘍内科での経験

**腫瘍内科を経験することで**

- ✓ **診断から病状進行・看取りまで、患者とともに歩む経験ができる**
  化学療法の有用性・限界を学び、Patient Journeyを見据えた関わり方が学べる。
  癌の病態や経過、今後の薬物療法を見据えた緩和治療薬の選択ができるようになる。
- ✓ **薬物療法の副作用やオンコロジックエマージェンシーの対応に強くなれる**
  早期からの緩和ケア介入時をはじめ治療医とのより円滑な連携が可能になる。
- ✓ **治療医の葛藤に寄り添える緩和ケア医になれる**
  治療医の考えや苦悩を理解し、信頼関係を築いた上での支援が可能となる 。

# 緩和ケア研修の面からみた近畿大学腫瘍内科の強み

✓ **大学院課程で緩和ケアを専門領域として選択可能。**

阪神5大学サステナブル人材養成プラン（がん緩和医療専門医養成コース）に参加することで学位取得・緩和医療専門医取得を同時に目指せます。

✓ **ホスピス病棟と連携しアウトリーチ活動に取り組める**

週1回連携病院のホスピス病棟で勤務することで病棟での緩和ケアを学べると同時に異なる環境に応じた実践的な対応力を培うことができます。

✓ **腫瘍内科医が緩和ケア外来や緩和ケアチームを担当。**

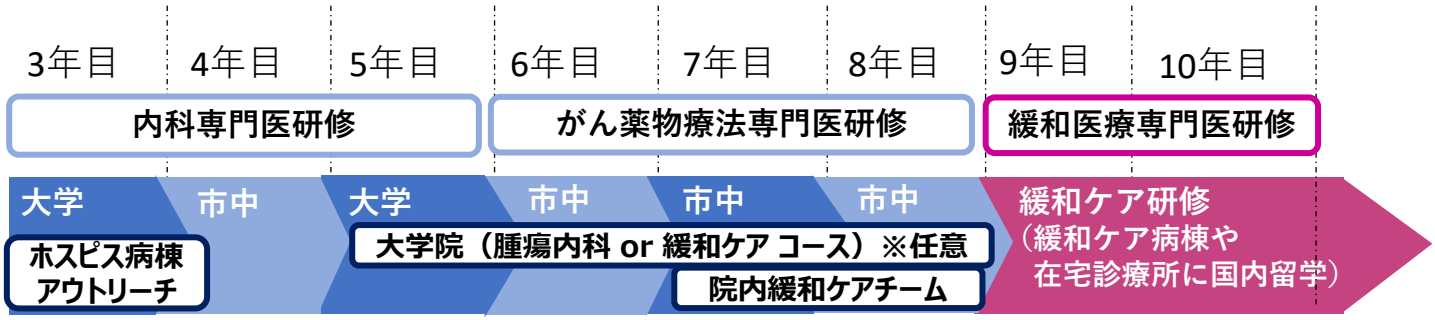
腫瘍内科に所属しながら、緩和医療の実践力も磨くことができます。

✓ **緩和ケアチームとして非がん患者の緩和ケアにも関わることができる。**

特にACPに関しては、がん領域にとどまらず他診療科とも連携して推進しており、非がん疾患におけるACPの実践にも関わることができます。

# 目指す専門領域に応じた柔軟なキャリア形成が可能

**研修例：緩和ケアのマインドも持ちつつしっかりがん薬物療法を学びたい！目指せダブルボード！**




**腫瘍内科・緩和ケアいずれの経験も積んだ上で**
**自身の目指す道を選ぶことができる！**

腫瘍内科医 / Palliative Oncologist / 緩和ケア医（チーム・病棟） / 在宅医

**『まず緩和部門に入職（スタッフor研修）、必要に応じて腫瘍内科研修も考えたい』**
**そんな方も大歓迎です！　気軽にお声かけください。**

# 問い合わせ先


（見学担当）三谷 誠一郎　192741@med.kindai.ac.jp
（研修担当）吉田 健史　yoshida_t@med.kindai.ac.jp
（HP）https://www.med.kindai.ac.jp/shuyounai/


見学担当者メールアドレス　HP　見学申し込みフォーム

# 医療法人協和会 千里中央病院
# 緩和ケア研修プログラム

## 要旨

- 本プログラムでは、日本緩和医療学会の専門医認定制度を踏まえ、緩和ケアのコアコンピテンシーを習得し、緩和医療専門医取得に必要な臨床経験・症例・学術活動を計画的に整えることを目標とする。
- 千里中央病院を主たる研修拠点としながら、法人内の複数の緩和ケア病棟、関連急性期病院、在宅医療機関、大学・がんセンター等との連携を通じて、病棟・チーム・在宅・地域連携を横断的に学ぶ。
- 本プログラムが目指すのは、単に緩和ケア病棟で勤務できる医師ではなく、症状緩和の知識・技術を基盤に、患者・家族、多職種、病棟、地域をつなぎ、緩和ケアを実装できる医師である。

## 緩和ケア研修の「基地」をつくる

### 価値１：生活基盤を保ちながら、専門性を伸ばせる

民間医療法人の安定した勤務環境を基盤に、大学病院、がんセンター、急性期病院、在宅医療機関等と連携しながら、緩和ケアの専門性を身につける。

### 価値２：若いうちから、病棟・地域連携の実践に関われる

患者・家族への臨床実践に加え、多職種カンファレンス、紹介調整、地域連携、病棟運営などに段階的に関わり、緩和ケアを現場に実装する力を身につける。

### 価値３：臨床に加え、学会発表・研究・論文作成・ネットワーク形成も支援する

個別指導に加え、院内外の臨床家・研究者と連携し、文献レビュー、研究計画、学会発表、論文化を支援する。

### 価値４：当院に閉じないキャリア形成を支援する

当院は、緩和ケア医としての基礎を築くための「基地」である。本人の希望・適性に応じて、法人内外の施設、急性期病院、在宅医療機関、大学・がんセンター等とも連携し、次のキャリア形成を支援する。

## 研修プラン

本プログラムの研修目標を達成するため、緩和ケア病棟、緩和ケアチーム、在宅緩和ケアなど、複数の現場で研修を行う。法人内の研修施設および地域の医療機関と連携し、個々の希望や経験に応じて研修内容を設計する。



1年目：緩和ケア病棟・外来を中心に、症状緩和、家族支援、
多職種連携、病棟診療の基礎を習得する。

2年目：緩和ケアチーム、在宅緩和ケア、自由選択研修を組み合わせ、
本人のキャリア目標に応じて経験を広げる。

## 週間スケジュール（緩和ケア病棟の場合の例）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 午前 | 回診・病棟業務 | 回診・病棟業務 | 回診・病棟業務<br>全体回診 | 回診・病棟業務 | 回診・病棟業務 |
| 午後 | 医師カンファレンス | 外来<br>抄読会/地域<br>カンファレンス | 多職種<br>カンファレンス | 院外研修枠<br>緩和ケアチーム等 | 教育レクチャー・<br>振り返り |

定期的な振り返りと個別面談を行い、研修の進捗、専門医取得、学会発表、研究、キャリア形成について継続的に確認する。



第 14 回 医学生・若手医師のための緩和ケアセミナー
**緩和医療の専門的な研修のプログラム紹介**

# Kobe Fellowship for Palliative Medicine



神戸から、世界に届く緩和医療を

## 神戸大学 緩和医療専門研修プログラム

### ■「診断・治療」だけでは、患者は救えない。

患者の苦痛に真正面から向き合う医師を育てる神戸大学
独自のフェローシップです。
神戸大学医学部附属病院 緩和支持治療科では、
地域の連携研修施設と共同で 2〜3 年の
緩和医療フェローシップを提供しています。

### ■ 優れた緩和ケア医を育てるためには

緩和ケア病棟（Palliative Care Unit: PCU）での研修を
基盤としながら、ハイボリュームセンターでの緩和ケアチーム、
クリニックでの在宅緩和ケアなど、さまざまな診療
セッティングで体系的なトレーニングを積むことが重要です。

すべての医師に、緩和ケアの力を

### ■ 研修の主な対象

・緩和ケアを専門とし、緩和医療専門医取得を目指したい
・サブスペシャリティとして緩和ケアを学びたい
・まとまった期間で緩和ケアを集中的に研修したい
・将来的な開業を見据え、緩和ケアを学び直したい
※1 年以内の短期研修も応相談

### ■ 研修のメリット

**緩和医療専門医取得を支援**

豊富な症例と指導体制により、充実した研修を提供します。

**ライフステージに応じたキャリア支援**

育児・介護・学位取得など、それぞれのライフステージに
応じたキャリア形成をサポートします。

### 神戸大学がんプロ
### インテンシブコース受講生募集中！

毎週月曜日 12：30 〜 13：00（オンライン）で、
緩和ケアのコアレクチャーから最新の治験まで、忙しい
医療者にも受講しやすいがんプロコースを開講しています。
ぜひ、下記 QR コードからお問合せ・お申し込みください！

**お問合せ先**

神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 先端緩和医療学分野
〒650-0017 兵庫県神戸市中央区楠町 7 丁目 5-2
E-mail: uneno@med.kobe-u.ac.jp
担当 采野

ID:26



緩和ケアのすばらしさを
一緒に感じてみませんか？

Welcome
無料
体験受付中！
あなたにぴったりの
研修を見つけてください
まずはお気軽に
見学へ！

Palliative care

地域緩和ケアサポートきずな
吉田病院緩和ケア

# 研修生募集

## Features of the work



楽しく学ぶ

病棟，在宅，外来を
経験できます



個別指導

一人ひとりの要望に応じて
研修期間や重点目標を相談



発表会あり

専門医取得に必要な
学会発表をサポート



多職種で

多職種アプローチ
による全人的ケアを経験

## 当院の特徴

地域密着の中規模病院で病棟，在宅，外来とフィールドを選ばず一貫して主治医として関わることができます。精神科，消化器内科などバックグラウンドが異なる医師が在籍し専門を生かした指導が受けられます。進行がんのみならず、認知症や心不全などの非がん慢性疾患のケアにも関わることができます。

## 研修内容



- 緩和ケアの知識や技術の研修・習得
- 基礎から専門医取得レベルまで対応
- 在宅連携・多職種ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの研修・学習
- 非がん慢性疾患の基本的治療・終末期ケアの研修

## 数値でみる吉田

緩和ケア病棟入院数 245人/年(死亡退院145(59％))
(2023年9月～2024年8月)
がん患者在宅看取り数 75人/年(法人内３診療所の合計)
(2023年4月～2024年3月)
緩和医療学会専門医 2人
専門医研修中の医師 2人(2026年9月時点)


吉田病院緩和ケア
〒631-0818
奈良県奈良市西大寺赤田町
1丁目7-1
Web Site



お問い合わせ・お申し込み　0742-45-4601　yutakahatano1＊gmail.com(羽多野)
※メールを送る際は ＊ を ＠ に置き換えてください

ASO IIZUKA HOSPITAL
innovate and evolve

病気になっても過ごしたい場所で過ごせる地域づくりに貢献する

IIZUKA TRANSITIONAL & PALLIATIVE CARE

# 飯塚病院
# 連携医療・緩和ケア科
## 教育プログラム

当科は日本緩和医療学会認定研修施設として、緩和医療認定医・専門医の取得が可能です
年間40名以上の医師が研修に参加しています

### 3ヶ月コース（ベーシックコース）

主治医としての緩和ケアを実践

- 痛みや身体症状の基本マネジメント
- 精神的・社会的・スピリチュアルな支援
- コミュニケーションや緊急時対応の基本手技

### 6ヶ月コース（認定医コース）

緩和医療認定医レベルを目指す

- 包括的評価と意思決定支援
- 非がん疾患や心理的反応への対応
- 鎮静、コンサルテーション、地域連携など

上記以外の、短期研修の受け入れ実績もあります。適宜ご相談ください。

## 主な教育内容

**症状緩和**
痛みや身体症状を緩和

**社会資源調整**
退院支援・在宅連携

**コミュニケーション**
患者・家族との対話・意思決定支援

**チーム医療**
多職種との協働

## プログラムの特徴

病棟から在宅まで
緩和ケア病棟
緩和ケアチーム
在宅医療まで
幅広い診療フィールド

新しい分野の緩和ケア
心不全、救急
ペインクリニックなど
新しい領域の緩和ケアも
実践

臨床研究・大学院
多施設研究への参加
国内外の学会での発表
社会人大学院を
選ぶ方も

働き方改革・DX
よりよい緩和ケアを
普及させるべく、
働きやすい環境を
目指しています

見学は随時可能です。
お気軽にお問い合わせください。

飯塚病院 連携医療・緩和ケア科
https://renkei-kanwa.com/